京城日報

朝刊と合せて八頁

定價 [illegible] 廣告料 [illegible]

發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 [illegible] 京城太平通一丁目

發行所 合資會社 京城日報社

◎洵に見事な御姿勢

入江東宮侍從長謹話

東宮殿下に御陪乘の時は何日でも沐浴して心身を清めて御仕へ申して居るが今日は至尊御一世只一度行はせらるゝ至重至高の御大典に御參列遊ばさるゝ東宮殿下に御伴して參るのだから前夜から懇意の神主に頼んで置いて朝六時に祓つて貰ひさうして御陪乘參内した次第である朝霞立ち罩めて禁苑の秋色一層の瑞氣を含んで居る樣は馴れた眼にも神々しく尊げに拜されるのであつた東宮殿下には至つて御聰明に且つ御體格も至極御健全に渡らせらるゝとは申しながら御年が御若く在はすのと今回始めてかゝる公の御儀式に御參列遊ばさるのであつたから奉仕者の我々としては畏れ乍ら何かと御心配申上げて居たが賢所大前の御儀の御參拜も紫宸殿の御儀の御參列も何等御滯りなく最とも御立派に御濟まし遊ばされたことは神ながらの御天禀とは申せ誠に芽出度く有難い次第で殿下に於かせられても非常に御滿足の事と察し奉るのである而も黄丹闕腋窠頂黒幘といふ御服裝は今日御始めての御着用であるから是亦如何と御心配申上げたが洵に御見事に御著コナし遊ばされ最と大人びやかに大儀を濟まさせ給へるはかへす〲も芽出度いことゝ深く御悦を申上げたのである(京都特電)

◎大典と英帝勅使差遣

英國皇帝ジョージ第五世陛下には我 聖上陛下の即位大禮を行はせられたる十日を以て勅使を在倫敦帝國大使館に差遣せられ御懇篤なる御祝賀の聖旨を井上特命全權大使に傳達せられたり(倫敦電報)

◎大典と露帝の御贈進

露帝より大典奉祝の爲め我皇室へ贈進せられたる寳玉(蓋附)一個は露國義勇艦隊シンビルスク號にて敦賀へ輸送せられしに付駐日露國大使附武官を特派して京都に輸送せり(東京特電)

◎新授爵者

大隈伯は辭退か

今回の御大典に就き授爵說區々なるが大隈伯の侯爵に陞爵は伯が辭退したる由にて陞爵せざるやも知れず

男爵を授けらるゝは大森京都府知事、東京帝國大學總長山川健次郎、同大學名譽教授穗積陳重、大審院長横田國臣、貴族院議員田中芳男、大倉喜八郎、三井高保、森村市左衛門、古河虎之助の九氏ならんと(京都特電)

歐洲大戰亂

▲印度叛亂猖獗說

諸報に據ればキッチナー元帥の行先は巴爾幹にあらずして實は印度なり即ちハイデラバツトに猖獗なる叛亂起りたるに因ると(紐育電報)

▲獨逸國內の悲慘甚大

社會黨の檄文曰く『早速の手段を要す』と

巴里來電に據れば伯林フオルウエツ紙は次の如き社會黨の檄文を掲載して再び發行を停止されたり曰く、勞働者の生活は今や堪へざる程度になれり獨逸國內に於ける悲慘は既に甚大なり蓋し冬期到來せば悲慘の度は愈々增進するに至らん此際に至つては最早論議の必要無し吾人は早速の手段を要す(倫敦電報)

▲英佛共通大臣軍事會議設定

倫敦來電に據れば首相アスキス氏は下院に於て英佛共通の大臣軍事會議設定を發表せり(紐育電報)

◎一般減刑一萬餘名

恩典に浴せる者九割强を占む

今回の恩赦令に依り十日鮮內各地の法院並に監獄に於て一般減刑の恩典に浴せるものは各法院一千三百七十一名、各監獄一萬百一名總計一萬一千四百七十二名にして全犯罪者數一萬二千六百二十七名に對する九割以上に達せり、今之れを細別すれば左の如し

▲法院の部

▲高等法院 減刑者九名にして恩典に浴し能はざりしもの一名

▲京城覆審法院 減刑者四十九名、減刑されざるもの四名

▲平壤覆審法院 減刑者二十三名、減刑されざるもの三名

▲大邱覆審法院 減刑者六十二名、恩典に浴せざるものなし

▲京城地方法院 減刑者百九十二名、減刑されざるもの二名にして開城以下七支廳を合せる減刑者は百三十二名恩典に浴せざるもの三名

▲公州地方法院 減刑者四十四名、減刑されざるもの四名にして大田以下七支廳を合せる減刑者は八十三名恩典に浴せざるもの一名

▲咸興地方法院 減刑者四十七名にして恩典に浴せざるもの無く、又北青以下九支廳を合せる減刑者七十五名、減刑されざるもの一名

▲平壤地方法院 減刑者三十八名にして恩典に浴す能はざりしもの一名又安州以下八支廳を合せる減刑者は七十三名減刑されざりしもの二名

▲海州地方法院 減刑者四十一名、恩典に浴せざりしもの無く、瑞興以下三支廳を合せる減刑者二十一名にして全部恩典を蒙れり

▲大邱地方法院 減刑者五十四名にして減刑されざりしもの無く、金泉以下六支廳を合せる減刑者は三十名減刑されざりしものなし

▲釜山地方法院 減刑者百七名にして全部に亘り、又た蔚山以下六支廳を合せる減刑者百十名、減刑されざりしもの五名

▲光州地方法院 減刑者四十三名、減刑されざりしもの一名、又た順天以下九支廳を合せる減刑者百三十七名、恩典に浴せざりしもの一名

▲監獄の部

▲京城監獄 永登浦分監を合し減刑者一千七百九十八名、恩典に浴し得ざりしもの百九十名

▲西大門監獄 仁川及び春川分監を合し減刑者一千六百二名、恩典に浴し得ざりしもの二百七十名

▲公州監獄 清州分監を合し減刑者四百七十六名、減刑されざりしもの十四名

▲咸興監獄 元山、淸津各分監を合し減刑者二百名、減刑されざりしもの四十三名

▲平壤監獄 鎭南浦並に新義州分監を合し減刑者一千三百六十名、減刑されざりしもの百九名

▲海州監獄 減刑者二百七十一名、恩典に浴せざりしもの三十一名

▲大邱監獄 減刑者九百八十三名、恩典に浴す能はざりしもの八十一名

▲釜山監獄 馬山並に晋州分監を合し減刑者五百八十名、減刑されざりしもの百四十二名

▲光州監獄 木浦、全州、群山の各分監を合し減刑者一千百七名、恩典に浴し得ざりしもの百十八名

◎恩賜金に關する訓令

既報御大典に際し特に賑恤の資に充てしむる恩召を以て內帑の資を下賜せられたるに對し內務大臣は不取敢各地方長官に向け左の訓令を發せり(京都)

今般大禮に際し特に賑恤の資に充てしむるの思召を以て內帑の資を下賜せらる 聖恩優渥洵に感激の至に堪へず地方當局者は宜しく深く御趣旨の存する所を奉體し益々其責任を重んし一層淬礪の誠を效すへきは勿論恩賜金の管理運用に關しては最愼重に之を取扱ひ長へに 聖恩に奉答するの途を講せらるへし

◎出獄人保護に關する通牒

御大典に際し恩赦の儀仰出されたる當時の出獄人保護に關する通牒を添附し各地方長官に向け特に左の通牒を發せり(京都)

大禮に際し本日恩赦の儀仰出され候に就ては有恩赦出獄人の保護に關しては大體大正元年九月十二日地第八九四號通牒に依り御取扱相成度尙從來出獄人にして再び犯罪者となりたるもの不少趣に候處今回の恩赦に依り出獄したる者にして累れて犯罪者となるが如きこと有之候ては恐懼の至に付特に保護の局に當れる者は勿論宗教家篤志家等を誘掖指導せられ改過遷善の實を擧げしめ候樣御留意相成度候

◎仁川商議認可申請協議

仁川商業會議所に於ては十三日日鮮人合同會議を開き仁川商業會議所設立認可に就き協議し其筋に對し認可申請を爲す可し

◎大典装飾を撤去せしむ

間島支那稅關長の不法行爲

御大典奉祝に關し間島支那稅關長(英國人)は稅關吏たる日本人に對し其住宅に於ける門松注連縄提灯等の裝飾(在留民協議の上一般に施行せるもの)を禁じ居留民會より配付して既に門前に立てありたる門松を撤去せしめたりとの事にて其排日的行動に對し物議を釀し居れり(間島特電)

◎支那官憲鮮人を威嚇す

支那官憲は最近に至り鮮人に對し歸化入籍すれば土地所有權を附與すと說き又一面歸化せざる者には一切土地の所有權を認めずと威嚇し盛んに歸化を勸誘し居れり其結果各地方とも入籍の手續を爲す者著しく增加せり(間島特電)

◎富田與田兩氏の叙勲

御大典に際し長期功勞者に對し叙位叙勳の御沙汰あり其主なる者は既報の如くなるが朝鮮在留者にして此光榮に浴したる者は鎭南浦の富田儀作、仁川の與田貞次郎の兩氏にして孰れも勳六等に叙し瑞寶章を授けられたり

◎定例長官會議

十二日は定例長官會議當日にて午前十時より總督府第一會議室に開會し山縣政務總監以下各部長官代理參列し通常政務に付き協議の上正午散會したり

南言北語

キツチナー元帥が東部戰場に出馬したイヤ巴爾幹方面ぢやと之れから一聯合軍の作戰計畫も一變するのだらうなんて賴母しく思つて居たら頗る賴母しからざる電報が來た▲元帥の出馬は何の方面の戰塲でもない實際の處は印度行きぢやさうな▲此の秋此の際元帥の印度行きは大に心細いが印度のハイデラバツトで猖獗な反亂が勃發したからぢやさうな▲而し印度の反亂は既にから吾人の豫期して居た處だ▲おまけに其れに獨逸と云ふ赤面の惡役が一生懸命に煽動して居るから困つたものさ▲反亂と云へば決して左樣な事は御坐らぬと斷言した支那は何んの事だ▲上海の鎭守使はやられたぢやないか之れから所々で爆彈が飛ぶ事だらう▲と思つて居たら軒並びの安東縣や沙河鎭にも寧夢殿や謝寶軒なんて云ふ手合が潛伏して馬賊と連絡して反旗を飜へすと云つて來た▲袁總統の帝政ぢやないかマヽ待て〲近所で騷いぢや困ると云つた處で恐ろしい譯ぢやない▲やるならやるで可いが己の處へ間違つて一歩でも踏み込んで見ろ其儘ぢや置かぬぞ▲帝政が延期になつたから反亂も起らぬと▲其の樣な事はない帝政が時機問題なら反亂も時機問題だ何れにしても一と苦勞せなければならぬは支那だ▲帝政と飲んだくれを親に持つた貧乏娘だ▲警告で延期もしたと云へば氣持ちも能く聞えるが其實選擧が今年中に終らぬから何うで延期しなければならぬ▲だから濟した顏でヘイ〲延期を致しますでは人を何處迄も馬鹿にして居る▲日置公使が歸任の途上對支外交はマア〲見て居給へさ氣を吐て居るが見るなと云たつて大きな目で見て居るからやつて見せるよと云つて貰ひたいね▲市俄古上流のチーゼンス夫人は大典拜觀の爲め京都に來て祝賀提灯行列に混つて町を練り廻つて萬歲を絕叫して居る相な▲野次も野次によるが斯う云ふ野次は大に歡迎すべしだ

煙草の御土產進呈が付く須磨子劇

藝術座劇 松井須磨子 出演大優待

自十二日至十六日 五日間 京城 於壽座 (毎夜午後六時開演)

■左記の賣店にて入場券御買求の方には……■特等、一等、二等の各位に御土產進呈致します……

進呈する土產

■特等 しらぎ 三包
■一等 しらぎ 二包
■二等 カブト 三包

日本一の須磨子劇

入場券は左の販賣所で買ふのが一番御德用

煙草の景品が澤山付きます

龍山よりは往復共電車が無賃

松井須磨子孃

入場券販賣所

舊龍山元町	石川煙草店
同　町	松屋商店
京城本町二丁目	藤田商店
同 本町一丁目	寶屋商店
同 櫻井町	三山園茶舗
同 本町四丁目(停留所角)	岡本商店
同 南大門通(カフエータイガー隣)	廣江商會總販賣部
同 明治町四ツ角	安武商店
同 黄金町	天野商店
同 本町二丁目	小林民二郎商店
同 太平通二丁目角	廣江商會

京城 廣江商會

即位式場に赴かんとする大隈首相及び夫人

紫宸殿出仕間際の首相

大臣高官の參集振り
大隈さんは眞面目顔で口數少く納返る　お美しい兩公爵夫人が滿堂の紅二點

御所の曉は次々と明けて建禮門外の朝の大氣は粛然たる濃紫の霞となつて御門内に崇嚴の翼を張つた春興殿と紫宸殿の御屋根の邊に搖曳する、遙かなる鯨幕の蔭や垣の内外には衣冠や布衣の大禮使官達が左右に往來する忙はしげな態が窺はれ建春門、宜秋門、淸所門など御門を固める警手等の漆黒の巾幘に鍍めた銀線が著しく嚴かな輝きを見せて居る京洛を繞る翠峯が其の巓きに張り切れる樣な喜びの色に染め出され御所を包む常盤木の梢々が照々たる陽の光を浴て瑞獸の氣を枝から枝へ擴げて行く頃から參朝の人々の車駕が晴やかに御門の外に集ひ出した、時と共に參入者の群は漸く繁く第一朝集所に參集する人々は各宮殿下を始め元帥、閣僚、親任官、大勳位、公爵など多くは夫人同伴で參集するので爛熳たる百花の

▽樂園に胡蝶が 群がつた樣な美觀を呈した、妃殿下方や外國使臣の夫人連には洋裝の姿が多く見えたゞ普通の日本婦人で洋裝をしたのは石井外相夫人、尾崎法相夫人、瓜生大將夫人の三人であつた、殊に

石井外相夫人の鮮やかな洋裝ぶりは滿堂の眼を惹いた、大隈首相、岡陸相、加藤海相、高田文相、後藤男、德川公其他の夫人達は悉く垂髮の袿袴姿であるが德川慶久公夫人と近衛公夫人の御二方は天性の容姿頗る端麗なる所へ燃える樣な緋の袿を著けられたので

▽滿堂に紅二點 の鮮かな色を添へた、大官連を見渡すと山縣公は長い卓子の遙かの方に獨りポツネンと淋しさうな姿を見て取つた平田子が公に近づいて何か切りに話しかける、其の傍には大隈首相と松方侯が語つて居たが大隈さんも何時になく口數少なく眞面目顔であつたのは可笑しい。更に面白いのは一個所に西園寺侯、山本權兵衛伯、原政友總理の間に加藤海相が挾まれて浮かぬ顔をして居ると軈て原總理から目を切り暫らく低聲で語つた、此の

▽原加藤の會談 は滿堂の注目を引いたが添田鐵道院總裁だけが首を長くして聞いて居た其れから各高官の參集振りを拜見すると先頭は

▽川村元帥夫妻 で元帥は大禮服、夫人は紫地の袿姿華やかに腕車を並べて參入した、次で德川慶久公夫妻は自動車に同乘し賀枝子の方には燃ゆる樣な緋の袿に輝かしい御顔で入られる岡陸相は馬車、高田文相は自動車で何れも袿袴の夫人と同乘して勢ひよく入る、續いて七時半

尾崎法相はローブデコルテーの絢爛な洋裝をしたテオドラ夫人と同乘で來る、德川家達公夫人の白地袿の楚々たる姿や齋藤前海相が自分は朱丹の腕車に大禮服で揚々と名札旗を立て、過ぎ小一丁も遲れて衛地袿を著た夫人が『齋藤夫人』と書いた旗を翻へしつゝ御門を入つた、

▽後藤男が夫妻 揃つて自動車の窓を明け放し大禮服と袿姿で晴々しく風を切つて過ぎる後から加藤高明男が澁まし氣に又た苦々し氣に續いたのは面白い對照である大臣で獨り淋しく參入した者は一木、武富、河野の三人で加藤海相夫人の袿姿は殊に若々しく人目を惹いた、夫れと對照して三浦觀樹、高島鞆之助兩將軍の大禮服と鳥毛帽の古色蒼然たりしも頗る人目を惹いた（京都より）

京都の賑ひ
外人提灯行列の中に入りて喜ぶ

十一日關西武德大會演武大會時代祭あり其他催物ありて賑はしきこと云はん方なく米國市俄古の上流夫人チーゼンス女史の如きは提灯行列の群に入り市中を浮れ歩き居たり（京都特電）

奉祝會
十六日景福宮にて

十六日正午より景福宮内慶會樓下に於て京畿道管内に於ける地方賜饌拜戴式執行の筈なるは既記の通りなるが總督府にては之れに引き續き同日午後二時三十分より同所に於て御大禮奉祝會を擧行に決せり、當日の參列者は官民有志並に外國使臣等四千名に達する由なれば定めて盛況を呈すなる可し

拜戴奉祝係員

十六日景福宮内地方賜饌拜戴式並に御大禮奉祝會の係員左の如く決定す
▲報告係 係長荻田事務官以下三名
▲受付係 係長荻田事務官以下二十八名
▲儀式案內係 警長久芳事務官以下十名
▲接待係 係長遠藤秘書官以下二名
▲饗宴食堂及び模擬店係 係長郡山事務官以下設備係及び材料係、模擬店係、景品引換係、救護係、警備係等を合し數十名

祝宴申込延期
十三日中に至急申込め

京城府にて取纏め中なりし十七日の奉祝宴會參列者は十二日正午を以て締切る豫定なりしも他の場合と異なり申込者以外に多く到底豫定通り締切りを爲すに於ては折角の催しに參加し得ざる者も多かる可しとのことにて遂に一日を延期する事に決定したれば希望者は此際至急申し込みをなす可しと尚ほ今回の參列者は十七日の奉祝會當日迄に氏名を印刷したる一冊子となし永久の記念品として參加會員全部に分與すべしと

生徒提灯行列

御大典奉祝市內各學校生徒提灯行列は來十五日夜擧行に決定せるが其の要項左の如し
▲參加生徒は男子に限る尋常小學校五年以上普通學校は三年以上とし中學校程度以上の學校は全部とし私立學校は之に準ず▲當日の集合場所は左の四箇所とし午後六時迄に參集し掛員の指揮に依りて整列すること▲一、日の出小學校運動場二、南大門小學校運動場三、校洞普通學校四、光化門前廣場▲各集合場よりの行進順路は左の通りとす▲日の出小學校運動場より隨意歸校解散▲南大門小學校運動場より黃金町通永樂町通り南山町本町京城府廳前に至り隨意歸校解散▲校洞普通學校運動場より永樂町壽町官邸倭城臺南山町本町京城府廳前に至り隨意歸校解散▲光化門前廣場より鍾路通水標橋通り永樂町壽町日の出町官邸倭城臺南山町本町京城府廳前に至り隨意歸校解散▲全隊の行進順路は集合場の一二三四の順とし四列進行にて行進中は各校毎に約三間宛の間隔を取り且つ盛んに唱歌を歌ふ等なり

御神酒接待

十七日府民各町十個所に於て府民一般に接待す可き御神酒の分與地點は左の如し
光化門、京日社前、パコダ、南大門前、黃金遊園、元町四、龍山三角地、京城府前、東大門前、興化門前

各町の餘興
互に秘密の裡に趣向を競ふ

御大典の前五日間は謹肅に奉祝し奉り後三日間を各種の餘興に充つることゝなりたるため京城府內の各町に於ては早きは一箇月前遲きも數日前より其準備に着手して仲々に珍趣向を凝せるもの多き模樣なり各町の催物は一應書面又は口頭を以て京城府大典係の手許迄屆出ずることゝなり居たれども何樣其筋の天狗連の寄合ひなればウツカリ種明しをして可惜奇想天外より來る底の意匠を他町の者に氣付かれては一大事と秘密の裡に準備をたす者多く態と十五日ともならばアツと云はして吳れんと力み反ると云ふ豪勢なれば仲々以て有體のことなど報告はせず…何くの催し位の所で御免を蒙つて居る樣なり從つて充分の眞相は覗ひ難けれど大體只今の所聞知し得たる各町の催し物と云ふは

▲大和町一丁目 流石は京城の人氣男神崎龜太郞君の御膝下とて並大底の趣向では納らず先づ元の京城日報社跡を利用して十一日より小屋掛に著手し共同奉祝場に充て落成の上は博多二〇加、娘手踊、浪花節、筑前琵琶、福引等を三日間打通しに遣ることゝなれり、就中二輪加は神崎御大指揮の下に行はるゝこととて仲々振つたものが出るらしく十五十六の兩日間市中を練り步いた上會場に引返す手順なりと云ふ

▲岡崎町と元町 又岡崎町は兩端に大國旗を交叉し町內軒別には國旗、球燈又は注連を張りて靜肅に奉祝する元町一丁目は町內の裝飾は岡崎町同樣とし三日間子供角力の大會を催し景品を與へる尚ほ水產會社の造物は屋臺囃子の市中練步き旅館組合の博多二和加等を催す

▲彌生と漢江通 彌生の入口には紅白の布を以て裝飾したる奉祝門を設け町內には酒肴の接待を行ふも其他の催物はなく只靜肅に奉祝することゝし漢江通第二橋以北は十日より十七日に至る八日間生花又は花陳列會を開き十六日は午後一時より三角地に於て奉祝宴會を開くこととなり更に屋臺の各町巡行

▲櫻井町二丁目 櫻井町二丁目は此機會に於て町內各戶の親睦を圖らん爲仁峴普通學校側の廣地に共同奉祝場を設け大國旗を交叉し門に國旗又は五千數個の電燈を以て裝飾し場內の中の高臺には御神酒樽二個を設け三寶を奉安し榊を立つるなどして嚴かなる祭壇となし茶菓の接遇を爲す可しと

▲本町通り一圓 本町通は京城目拔の場所柄だけに他の町に遲れを取つてはならぬと云ふ張合から催し物も金のかゝつた入念ものも多きなれども又それだけ珍趣向と考へたるもの多く報告もなければ聞けども答へず依つて知る由もなけれども生花屋臺、山車、電氣裝飾、市中巡廻二〇加等の催し物ある樣なり

▲永樂町の蛇踊 永樂町平山牧場が主唱者となり長崎名物の蛇踊と云ふ奇拔な出しものを見せるとかにて三百數十圓を投じて準備中也と

元山の初雪

元山地方は十一日來氣溫降下し十二日朝は降雪あり之れ當地方本年の初雪なり（元山特電）

浮浪者の檢擧

京城鍾路警察署にては以前より引續き管內浮浪者の檢擧に努め居れる所近回八名の者檢擧され各二十日の拘留處分となり七日西大門監獄に送致され大に精神修養の鍛錬を受くることゝなれり

日進乘組員入京

目下仁川港碇泊中なる日進乘組員將校以下八十六名十一日午前八時二十分南大門驛著にて入京し光化門景福宮其他を觀覽せり

公州鳳山倶樂部燒く

十二日午前九時半公州鳳山倶樂部より出火し本館を殘して他は燒失せり目下原因損害取調中なり（公州特電）

△京城の公孫樹では總督府醫院覺交樹の老木と、倭城臺總督府官邸のものと景福宮から北門に行く間の公孫樹
△來る十五日から十七日までのお祝ひには、各町競爭の姿で催し物があるさうだが、千載一遇の時には、大に賑んにやるしい
△又京城の提灯行列はいつも淋しい、これは行列にも野次が居らず、見物も亦ポカンとして居るのによると思ふが、せめて大きな店などでは、行列を喝采してやつては何うか
△本町通りの床屋に聰慧なお客が來て『おい親方お前も哲學者になつたり、仕事が厭になつたりするんぢやあ無からうな』といふと『安心なさい、豈夫、お前さんの喉を斬りやあしねエから……』と遣の口吻で[illegible]のは大笑ひであつた

國柱會の名譽

[illegible]にては今回其の會員より金隣きさ子（八十三）[illegible]子（八十七）の天盃拜授者を出せしてふ[illegible]の名譽なりとし是等兩名の爲めに十二日の[illegible]法華會に於て午後七時より同所に於て[illegible]祝賀の會を催したり

今夜から壽座
藝術座劇の人氣　兩劵番の總見物

東京藝術座一行は龍山佐久良座に開演中のところ好劇家の切望により京城壽座に出演のこととなり十二日夜は午後六時から引續き中村吉藏氏作新社會劇『剃刀』及び杜翁原作『復活』（カチユーシヤ）を上場し十三日夜よりは新社會劇『嘲笑』『飯』及びワイルド原作『サロメ』を上場する則ちお馴染カチユーシヤに扮する須磨子の舞姿を京城で見得るのは今十二日の夜だけである藝術座劇は素晴らしい人氣で佐久良座の三日目には朝鮮銀行、三井物產、朝鮮郵船、喜久家などの多勢の連中見物で賑つたが京城の兩劵番でも總見をする筈である

東京藝術座一行 島村抱月 松井須磨子
午後正六時開演 ▲復活 ▲嘲笑 ▲飯 ▲剃刀 ▲サロメ
御客樣の御便利を圖り京城各煙草小賣店（廣江商會）にて入場切符を發賣し特に龍山よりは往復共特等一等二等の御客樣に電車切符を相添へ申上候
京城壽町 壽座 電話五七八番

廣告
御大禮奉祝の爲京城府民奉祝宴會擧行候に付有志の諸彥は左記御承知の上會費相添へ御申込相成度候
記
一日時 十一月十七日午後一時
一會場 景福宮內慶會樓
一會費 金一圓
一申込期 十一月十二日正午迄
申込所 京城府廳內務係 京城府龍山出張所
大正四年十一月 日
御大禮奉祝會委員

馬拂下廣告
日本馬七頭十一月十五日午前十時平壤憲兵隊ニ於テ糶賣ス買受望ミノ者ハ印鑑携帶出頭スベシ
平壤憲兵隊

物品拂下
第一號 旋盤 古府 二十萬磅
第二號 古制服類 十五點
第三號 木屑皮古船 四點
第四號 古枕木 八千本
第五號 雜品類 四十九點
以上 當局龍山倉庫渡
第六號 古枕木 二萬二千本
右來十一月二十五日競爭入札ニ依リ拂下ス詳細ハ官報ヲ見ルヘシ
大正四年十一月九日
朝鮮總督府鐵道局

朝米 正 橋本猶作
秘宮ノ寶無代進呈（[illegible]）

內地銘酒 三百五十石
右破格の廉價を以て賣却可仕候間多少に不拘御用命奉願候
壹斗以上御代及各驛に至る迄の運賃當店負擔す
大邱北旭町 齋藤酒店（電話三四九番 振替八二六番）

奉祝御大典 仁川海岸町 貿易商 內海淑郎 電話六一五番

奉祝御大典 東京メリヤス問屋 仁川府宮門通 合資會社 八幡商店 振替京城一八三二番

奉祝御大典 仁川仲町 園田製粉所 電話八五五番

M EP 名譽大賞牌受領 コマリ 大阪唐物町四 坂田商店

奉祝御大典
京城醫師會
池田病院（小兒科・內科）　岩崎虎雄　伊藤池上醫院（小兒科・耳鼻咽喉科）　石川今村醫院（產婦人科・小兒科・內科）　石川醫院（胃腸科・內科）　今本醫院　爲春堂醫院　飯塚齒科醫院　二宮婦人科醫院（產）　本田醫院（小兒科・眼科・內科）　德濟病院　中央婦人病院　小川醫院（小兒科・內科）　和田外科病院　若槻醫院（小兒科・內科）　金井眼科醫院　川崎朋子（女醫）　漢城病院　高井醫院　多々見醫院（小兒科・內科）　鶴田外科醫院　中島醫院　中村醫院（耳鼻咽喉科）　村上病院（小兒科・內科）　宇野天壽堂醫院　山口醫院　矢崎信重　松本診療院　松岡醫院　京城婦人病院　京城醫院　舟津醫院（贊化病院內）　小林醫院（小兒科・內科）　弘仁堂醫院　江頭眼科醫院　安東醫院　安藤醫院　安部醫院（皮膚病・花柳病）　安商浩　贊化病院　佐藤病院（皮膚病・花柳病）　佐々木醫院（胃腸）　酒井婦人病院　宮地醫院　鳥崎醫院（皮膚科・花柳病）　瀨戶醫院（外科・皮膚病・花柳病）　杉本醫院（耳鼻咽喉科）　須古醫院（外科・皮膚病・花柳病）　菅醫院

慶北永川郡華東面鉄田洞附近の後山に七日野猪十數頭現はれ洞民は大に驚き各棍棒を振ひ撲殺せんと包圍せ

噛み付き重傷を負はさる

廻りし野猪は傍に慈き周章てをる樣梁義（四五）に飛び付き兩手きも一時はなか〳〵の騷動なりし

遊びゐたる鮮童數名の中なる花園町十二番地金昌石長男金敬用（六）なる…に車輪止めとして設けある材木に挾まれ前額を碎かれて骨碎け死せるを見て逃走を企てしも取押へ

◎帝政と滿洲

支那の帝政運動は日英露佛四國の勸告に遇ひ稍々行惱みの姿となれるが在滿洲の將軍及び巡按使等は帝政必ず成るべしと稱し一方北京政府よりの意を承け管下人民に國體變更の止むべからざる所以を周知せしむるに努め且非常なる警戒の下に擾亂勃發の事なからしめんと注意しつゝあり今日のところ滿洲には革命黨員の入込める形跡なきも嘗て革命黨員たりし者あり又南方の革命黨員と陰に氣脈を通ずる者もあり

▲馬賊の內にも 彼等と或る連絡を有する者もなきにあらざれば奉天の段將軍は管下一般に嚴令を下して警戒おさ〳〵怠りなし殊に營口には商取引其他の關係にて上海地方より種々の人物往來するを以て最も此の方面に警戒の手を嚴にしつゝあるが如し宗社黨の一派が袁世凱を皇帝に戴かんとする帝政運動に不快なるは勿論なるも同派の勢力は微々言ふに足らず現に旅順に在る肅親王の如き今日と雖も成るべく宗社黨との關係を避くるに努め依然閑雲野鶴を侶とし何等他意なきの狀を示し居れり同親王は此程大連に來り星ケ浦において一夕

▲支那通の請宴に臨みたるが政治上の事に就いては少しも語らず帝政に及べば顧みて他をいふと云ふ有樣にて『良宵消盡古今愁、長笛一聲人倚樓、耳熱酒酣無語說、滿山紅葉送深秋』など吟じ只管韜晦に專らなり大要以上の如き狀態なるを以て帝政の進行如何に拘らず差當り滿洲には不穩と認むべき形跡なきも今後も猶久しく太平無事なるを得べきや否やは保證の限にあらず若し其れ關東州管內の支那人に至りては帝政成るも成らざるも我れ不關焉の冷靜なる態度を示し居れり（大連）

◎安東縣の奉祝

十日御卽位禮當日に於ける安東市の奉祝次第を記せば左の如し

▲御眞影奉拜式 午前八時より同九時三十分迄安東領事館に於て御眞影奉拜式行はれ在住官民有志の拜賀するもの多かりき

▲安東神社祭典 午前十時より安東神社にて祭典執行せられ吉田領事を始め官民有志並に在鄉軍人會、守備隊、小學校生徒等の各團體の參列あり同十時三十分無事式を終れり

▲官民奉祝式 官民合同の奉祝式場は領事館正門內なる芝園前に設けられ周圍に紅白の幔幕を引廻らされ午後二時頃より官民有志の參集するもの陸續として絕えず二時二十分に至るや一同京都の方向に面して姿勢を正し同三十分一發の號砲を合圖に吉田領事の發聲にて天皇陛下の萬歲を三唱し奉り終つて一同解散し館內に設けの宴席に入り隨意祝盃を擧ぐ

▲滿鐵奉祝 滿鐵社員一同は午後二時より櫃ケ岡に赴き同三十分を期して同じく山路委員長の發聲にて陛下の萬歲を三唱して散會せり

▲領事館夜會 午後五時より領事館樓上に於て盛大なる夜會開かれ內外の重なる官民無慮數百名の參會あり非常の盛會を極めたり

▲市內の裝飾 此日朝來曇天にて剩さへ風加はりて寒冷を覺ゆること甚し、市內各町の要所には奉祝門を設けて彩旗提灯若しくは電球を以て美しき裝飾を施し領事館民團其他會社銀行大商店等の軒頭は種々の趣向を凝らして裝飾し各戶又た一般に國旗提灯を提げ若しくは七五三繩等を張りて全市美觀を呈せり

◎忠州の奉祝

居住民一般に休業して慶賀の誠意を表し各戶軒頭に注連繩を張り日章旗を交叉し萬國旗提灯にて滿飾せる市街は靜肅を極め各戶家族團欒して壽盃を擧ぐ各官廳、軍隊、學校等嚴肅なる式場を設け一般住民の式場たる公立尋常高等小學校には校門に奉祝の大綠門を設け警鐘臺の撞鐘を合圖に午後三時三十分一齊に萬歲を奉唱し午後五時より公立小學校にて官民合同大祝宴を開き午後六時より提灯行列を擧行したるが參加するもの無慮數百に達し社稷山頭萬歲の聲は天に沖し盛況なりき

◎光州祝賀

全南光州に於ける御大典奉祝の狀況は既報の如くなるも更に其の詳細を報道せんに

▲官廳の奉祝 道廳地方法院警務部警察監獄郵便局其他の官廳は所屬官吏孰れも午後二時半に集合し三時三十分各上長官の發聲にて陛下の萬歲を三唱したり

▲軍隊と軍人分會 第二大隊第八中隊は營庭に於て將卒列を整へて萬歲を三唱し光州在鄉軍人分會員は憲兵隊にて奉祝の式を擧げ勅諭を奉讀して午後三時三十分一齊に陛下の萬歲を三唱

▲市民の祝賀 在留市民男女內鮮人數百名は小學校に於て奉祝の式を擧げ煙花を合圖に松田管理者の發聲にて東方に向ひ午後三時三十分萬歲を奉唱して退散したるが式場には綠門を造り萬國旗を交叉して嚴儀を添へしめたり

▲市中の雜沓 市中は花の巷と化し美觀此の上なく辻々には綠門或は大行燈を設け國旗軒燈は其の間を點綴して一層の景況を添へしが夜に入りてよりは近鄕の鮮人雲集し本町通りの如き肩摩轂擊從來曾つて見ざるの

◎群山前月經濟

朝鮮銀行群山出張所調

群山前月の金融を敍せんに上半月に於ては九月に比し幾分相場持直しの氣味ありしも倚ほ期正米共一高一低を繰返し捗々しき荷動きを見ず僅かに精米筋の內地注文に應じ多少の荷動きを見たるも是れとて小口當用間のみにして大口の手合せ更になく商況閑散を告げたりしが其間にありて牛皮は稀なる好調を呈し相應の移出を見其の買入に多少の資金の需要を喚起するに至れりされど新穀出廻り例年に比し遲れ氣味にて從て其の買付資金の需要も幾分遲れ全般の金融は相變らず緩漫を續けたりしが下半期に入りては新穀の出廻りも追々と見るべきものあり倚ほ內地期米も奔騰を續けたると因り市況俄かに景氣付き又內地取引先よりは注文相當に入込み移出頻繁に向ひ荷動き漸く旺盛を促し急に資金の需要を增すに至れり一方移入商側に於ても冬物仕入の爲め相當資金の需要を喚起せるとに因り愈々金融は繁忙を呈しつゝ越月せり亦た前月に於ける輸移出總額は六十二萬三千零九十四圓にして九月に比し十六萬三千五百五十六圓を增加し輸移入總額は二十二萬八千零八十圓にして九月に比し六萬六千四百四十八圓の減少を示せり今大體異動を見るに移出米は下半期に於て內地相場奔騰を續けたる爲め移出の旺盛を促し且牛皮の移出大に見るべきものありしとにより約十六萬圓の增加を示せり而して移入に於ては鮮盆の過ぎたる爲め金巾類の著しく減退したると端境にある爲め諸雜貨類日用品の賣行面白からず前記の減少を見るに至れり

◎淸州の天杯奉授式

忠淸北道廳にては既報の如く十日午前十時淸州郡淸州面、四州面左記十二名の高齡者に對して天杯奉授式を行ひたり

四州面松亭里	九十一歲	李容徽	農
同 雙泉里	八十九歲	崔氏	同
同 內鶴里	八十八歲	崔氏	同
同 鳳鳴里	八十四歲	朴門東	同
同 校西里	八十三歲	金氏	同
同 華鐵里	八十一歲	鄭氏	同
同 栗陽里	同	鄭氏	民
同 內秀里	同	辛氏	同
淸州面[illegible]	八十七歲	金氏	同
同 市場町	八十五歲	吉野源次郎	菓子商
活水町	八十三歲	山上平太郎	[illegible]

◎西湖津より

鳧樓生

船に搖られて繩のやうに疲れた身體を西湖津の波止場に運んだ時魔の手から逃れた樣な心地がした、前夜元山を出發する時分から降り出した雨は執念くも附き纏つて鬱陶しい、海は靜かだが沖合は薄靄で刷いたやうに曇つてゐる、降り頻る霖雨の中を濡れ鼠のやうな姿の擔軍が迂路ついてゐる、船著場の物騷しい氣配が何處となく窺はれる

▲泥濘の中を徒渡つて宿屋へ行つた二階も階下も部屋は滿員、咸興西湖津間の線路が目下工事中で臨時のトロが出ぬとて大騷ぎをやつてゐる、二階の欄干に倚つて雨の町を見下した、一と筋だが家並の好く揃ふた町で、新しい建物が段々殖えて行くだけに何處となく活氣が漲つてゐる、町を越えて海が見える、綠樹に蔽はれた岸に近い小島が浮んでゐるやうに見える、船の過ぎる度に靜かな海面に輪を描くのが手に取るやうに見える、西湖津は繪の樣な海景色を前に控へた沈著いた港町である、汽船の著いた時は流石に騷なしいが大勢の旅人を乘せた咸興行きのトロが出て了ふと埠頭に群集した擔軍は何處ともなく知れず立去り海にも町にも靜かな空氣が流れるのである、西湖津の附近は漁業の盛んな處で咸興から奧地一帶の住民の食膳に上る鮮魚は悉く此處から輸送するので內地人の漁師が澤山住んでゐる

◎朝鮮製綿會社の大賣出し

同社は昨年十月の創業にて開業當時は種々困難の事情有りしも社員全部が獻心的努力にて殆んど日曜日は固より夜間と雖も休業せず爲に第一期より相當の株主配當を得しが如きは他に類例なき所にて日に隆盛に赴き居りしに不幸本年八月火災に罹りたるも直ちに復舊工事に著手し約一箇月にして原狀に復し今や繰綿器も八臺を備へ盛んに製綿しつゝあり今回始政共進會に出品して金牌を受領せしが如きは全く日淺き會社としては稀なる事にて社員の努力の然らしむる所なり幸に創業一週年に相當し金牌も受領せし事なれば記念大景品付賣出しを始め十一月十二日より十二月廿三日迄大廉價に販賣する由營業部主任は原田米吉氏事業部は上田義祐氏なり

◎連絡船上陸客

十一日午前入港高麗丸一二等客

一等（五名）米國人二名、英國人三名、二等（十一名）方勝吉助、同[illegible]、田鍋太郎、木田[illegible]、代議之助、岡野久太郎、三等（八十三名）

十一日午後入港弘濟丸一二等客

同つき、一等なし、二等（十一名）[illegible]、三等（三十四名）

商況

東京株式特電

十二日	前場寄付	大引
日本郵船	一二四、六〇	一二四、五〇
日清汽船	……	……
鐘淵紡績	一二三、八〇	一二三、五、
同新株	……	……
日本麥酒	九四、一〇	九四、〇〇
東株第一	一八〇、三〇	一八〇、〇〇
東株第二	一八〇、九〇	一八一、〇〇
東新第一	一五二、二〇	一五二、六〇
東新第二	一五一、四〇	一五一、八〇

債券現物特電

東京 九月廿日出値段（前日との比較）

東洋拓殖	……
日韓瓦斯	……
朝鮮銀行	一四二、〇〇
朝鮮瓦斯	……
南滿鐵道	……

公債直取引

東京 十二日出來値段（前日との比較）

五分特別	九七、七〇
五分利	……
一回四分	八〇、六〇
二回四分	八〇、四〇
甲五分	九五、六〇

深川在米特電

十二日現在高

朝鮮米	四〇、六一四
臺灣米	六七、一八八
內地米	一九八、五五七

東京期米特電

十二日前場	十二月限	後場
寄付	一三、八一	……
高値	一四、八八	……
安値	一三、七八	……
止め	一三、八一	……

大阪株式特電

銘柄	拂込額	十二日前場 後場止値	前日
宇治川水	五〇、〇	……	[illegible]
神戸電氣	五〇、〇	……	……
京阪電氣	五〇、〇	……	[illegible]
和歌山	[illegible]	……	……
合同紡績	[illegible]	……	……
鐘淵紡績	五〇、〇	……	[illegible]
同上新株	[illegible]	……	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	……	[illegible]
大阪商船	[illegible]	……	[illegible]
日本郵船	[illegible]	……	[illegible]
大阪米穀	[illegible]	……	[illegible]
東京新株	[illegible]	……	[illegible]
大阪株式	[illegible]	……	[illegible]

大阪三品特電

十二日前場	寄付	大引
十一月限	一一七、一〇	一一六、五〇
十二月限	一一七、九〇	一一七、五〇
一月限	一一八、七〇	一一八、四〇
二月限	一一九、三〇	一一九、二〇
三月限	一二〇、〇〇	一二〇、〇〇
四月限	一二〇、五〇	一二〇、四〇

大阪期米特電

十二日前場	寄付	
當限	一三、三八	
中限	一三、四七	
先限	一三、九[illegible]	め止

下關期米特電

十二日前場（各地安値と小口賣に氣配惡し）

	寄付	
當限	[illegible]	
中限	[illegible]	
先限	[illegible]	

朝鮮物産特電

[illegible]

雜報

◎期糸と眼先

三品市場[illegible]

下關相場

[illegible]

◎綿布依然不味

[illegible]

◎投物漸く一段落

[illegible]

◎新炭類の昨今

[illegible]

◎案外多き初冬の在荷

[illegible]

◎汗浦根炭四十錢

[illegible]

◎六錢處南鮮物四十三錢

[illegible]

◎燐寸輸出新販路

[illegible]

◎遂に一割五分

[illegible]

◎洋鐵と高電 十圓高を報ず

[illegible]

◎歐洲輸出

[illegible]

◎蜜柑弗々入荷

[illegible]

仙盆昂騰の傾

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 仁川海岸町三丁目 電話長三三七番 電略イヌ

仁川米豆取引所仲買人 三巴 仲買店 電話長三[illegible]

京城正米

[illegible]

京城雜穀

[illegible]

南大門廻着米

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

仁川期米

十二日前場 六錢安の入電

[illegible]

市場零聞

前場の商戰

[illegible]

保合ひ閑散

[illegible]

一節に三千五六百石の商內出來

[illegible]

標準米確定

[illegible]

標準米確定 夾雜物二步程度

[illegible]

市場氣乘薄

[illegible]

▲檢米と强弱

[illegible]

▲東北米出廻增加

[illegible]

北濱だより

[illegible]

仁川米豆取引所 十二日の一月限

[illegible]

小賣白米

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 田中 仁川海岸町三丁目 電話長六二八番

期米 吉 行實仲買店 岸町三丁目 電話長九二二

顧客本位正確神速 仁川米豆取引所仲買人 サ 仲買店

演藝案內

壽町 詩館 電一〇五〇
御成座 小島康之助 全七場
大正館 櫻井町 電話八七三番
有樂館 本町一丁目 電話二六六 新築落成
大正館 泰西探偵活劇 黑鬼 全三巻 舊劇 明烏十勇士 御大典御盛儀 第二報 十一日より取替へ申候
浪花館 明治町 電話二六〇番
黃金館 黃金町四丁目 電話二三七
龍光館 龍山停車場前 電話（龍山）四番

新荷着 アンクル式片側懷中時計 本店 京城本町二丁目 電話九七二番 イングレッシー商會

恐るべき傳染病の豫防消毒には 無害無毒 イザール

櫻組製靴 定價表型錄寸法用紙御申越次第送呈仕候 東京市麴町區八重洲町一丁目一番地 合資會社 櫻組製靴部

飄水味淋 專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

越後大評定

第四十二席　早川貞水口演

小栗美濃守の實見

小栗美濃守御駕籠の内より『コレッ、願ひ人の願ひ、採り上げ得させよ』○『ホ、ホーッ……コレ、御採上げに相成るから、神妙に致せ　金『御採上げを願ひたい、父の大事』一生懸命で御坐いますから、前後も分らぬ○『既う宜しい、コレッ、袂を放せ御採上に相成つた、其處放さぬか、衣類が切れる』衣類ばかり氣にして居る○『下に居ろ』御採上に相成つた、今初めて氣が付いた金三郎、ピツタリ地平へ坐わり、兩手を支へ、『御採上げの程を願ひまする』と、持つて居りました宥竹の願書のクシャ／＼になつたのを差上げ、それを御採上げに相成り御駕籠の引扉を閉け　美『願ひ人は』○『城下町人の樣子で御坐います』願書を披いて御覽あそばしますと、萬屋金兵衞が水牢の苦み、千代に對する殿の云々とある　美『コリヤ金三郎とやら　金『ハハツ　美『此願書の趣、相違ないか　金『毛頭相違ござりませぬ　美『然らば其方妻千代なる者自殺せしか　金『左樣に御坐いまする　美『然らば其方宅に美濃立寄るであらう　金『ウ、へーッ　美『コリヤ家來共、城下町人萬屋金兵衞方へ立寄るであらう　○『ハー』ハツ』美濃守樣御立寄と云ふことになりましたから、金三郎、六兵衞の兩人御暇を戴き、一生懸命飛んで歸り『サア今小栗美濃守樣が此家へ御光來になり千代の自害を御見屆があるから、皆其心得で、粗忽があつてはならぬ』と家内中の者が膽を遣し、御光來を待つて居る、其間に御乘輿が萬屋の宅の前に來て、長の道中御疲れに依り萬屋方へ御休息と云ふ觸れ込みで御光來になる、金兵衞の妻、倅を初め、番頭六兵衞、治助が其處へ先き立ちで御出迎ひを致す『一同の者、例外であるに依り、騷ぐな』と仰せられズーッと奧へ御通りになる、御茶、菓子、煙草盆を差上げる　美『今日當家倅金三郎、願書を以て歎願に及びし樣子にては、容易ならざること、金三郎妻千代と申する者の自殺なしたる場所、一見いたすであらう　金『恐れ入り奉る取亂して御坐いまする』と申し上げて御案内をする御覽になると、屏風を逆さまに立て、前に觀音の像を安置致しまして香を焼き膝の邊を二重に捲き、俯伏になり、切尖は膽の窩に現はれて居る、物の美事な自殺、美濃守殿自身に其短刀を抜き取り、切尖を御覽になると、刄こぼれ一つない　美『さて／＼町人の娘としては誠に天晴美事なる自殺……金三郎、其方は良き妻を迎へたが、誠に夫婦と云ふも僅の間、アー氣の毒な至りである　金『ハア是は恐れ入ります　美『三右衞門　三『ヘッ　美『此人は其方の妻か　三『御意に御坐います……コレ、御挨拶を申し上げろ　美『其方共夫婦良き娘を亡ひ、さぞ力を落したであらうが、併し最期は立派なものぢや　三『エー有り難う存じます』御賞めの言葉で潸然泣いて居る　美『金三郎に操を立つての自害、この遺書の樣子、邪さに殿樣へ申し上げたならば、父金兵衞の出牢も或は能うであらう、必ず心配致すな、拙者が宜に計らひ遣はす、就ては此千代の首、是は予にくれえ　金『ハア　美『如何ぢや　金『ヘッ』

十一月十四日　九星
舊十月八日　巳　四
本命六白　乾　開　大安

▲六白● 美なる空談多き日 新非見合決方は吉 ▲七赤● 經濟調ふ日 轉居入學金件名弘樂は吉 ▲八白● めでたき日 ▲九紫● ふと一ぱい喰はんとす ▲一白● 優美の日 ▲二黑● ▲三碧● 合點のゆかぬ日 ▲四緑● 一寸反目する事有り ▲五黄● 大儲有日

最良髮油

あわ油

殿方も御婦人も御愛用遊ばさる、頭髪のために一番良い香油

本舗　東京　井善　製

支店　大阪市南久寶寺町四丁目　藤森源之助　電話南一八七八番

約百圓の資金にて一ヶ月五百圓の純益ある活動寫眞興行が手輕に出來る新案登録器械　委細説明書にあり郵券二錢送れ
東京淺草八幡町　振替東京一六六八八　大澤商會

ぢの良藥
内用 痔退丸　外用 退痔劑
安川藥剤官創製の本剤は實質の發見と効力の卓越せるは一般に信用あり論より證據は試し見給へ
内用痔退丸は病毒を掃滅除去して外用退痔劑は脱肛出血痔核を治す　定價内用廿錢五十錢一圓　外用同價
本舗　東京市日本橋區上槇町　安川晃榮堂
全國藥店に取次あり

小兒病　外科　内科（八院醫畫）
梅毒、淋疾　皮膚病　痔、肛門病　腦、耳鼻咽喉科
診察時間 午前八時より
島崎病院　院長 島崎

冷性とこしけ　怖ろしい理由

婦人は一般に身體の冷えるのは時候の故だとか先天的だとか思つてゐる方が外いやうです『私は人一倍冷性で年中手足が冷え通しだ』とか『腸氣の加減で此頃大層足腰が冷える』とか云つて始終冷えるのを苦にしてゐながら其儘に打棄ておく人が多いやうです是等は畢竟醫學上の智識に暗い爲でせうけれど、又一つには昔から誰言ふとなく女は冷えるものと相場を定めて、病氣で冷えるのも生理的に冷えるのもすべて性分だと誤解してゐるにも因るのです、寒い時分には誰しも多少手足の冷えるのは當然ですが、一晩中冷え通してそれが爲に快く眠られぬのは何處か身體に故障があるからです、況して子宮病や血の道は冷えるのが特徴の一としてからこんな徵候のある婦人は大病でないまでも、確かに子宮に異狀があるものと見做さねばなりません

こんな危險を知らぬ佛

次ぎに白帶下についても大抵間違つた考へを持つてゐる婦人が多い。試に貴女こしけがありますか」と伺ふて見ると、大抵の婦人は多いとか少いとか答へるに定まつてゐます、それでは何か據る所があつて云ふのかと思ふと決してそうではない只漠然と近所の人や友達の話を聞きかぢつて妄に多分さうだらう位の考へで言ふので、盲蛇に怖ぢずの比喩の通りに危險千萬な事です、なぜなれば冷性と白帶下とは共に婦人科の病氣には附物で、殊に慢性の子宮病や卵巣病には必ず現はれる處の特徵であるからです

白帶下にも種々ある

所で白帶下と云つても總て皆同樣ではない、或は濃い膿汁樣なのもあれば、或は透明に水の樣なのもあり、或は透明で粘稠なのもあれば、或は血液を含んだ膿汁樣なのもあり、其他十人十色で種々な種類がありますが斯樣に白帶下の種類が異るのは病氣の急性であるとか慢性であるとか、或は患者の體質や病氣の性質によつて違ふのです、何れにしても右樣な白帶下ある婦人は已に病氣に罹つて居る證據で殊に白帶下の多量にある婦人は子宮内膜炎、子宮頸管加答兒、膣加答兒等の病氣であるものと心得ておかねばなりません

子供の出來ぬは何故か

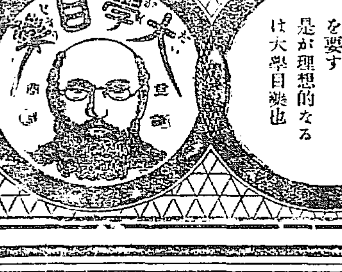
殊にこしけの怖ろしいのは姙娠を妨げられて不姙娠の原になる事です、何故かと申せばそれには三つの理由があります、第一は有害分泌物（こしけ）の爲に精蟲の進路を遮られ第二は卵が姙孕せんとしても附着して發育する場所が無くなる、第三は異常の分泌物の爲に化學的に精蟲が殺されて了ふからです、故に白帶下の全く根治せぬ間は何時まで經つても絕對に子供が出來ぬのみならず之が永く續くと全身に貧血症狀を起していよ／＼危險な重症に罹ります、眩暈逆上、耳鳴頭痛、動悸手足や腰の冷える等は總て貧血の結果です、

婦人病者の相談相手

以上は白帶下と冷性とに就てホンの大體を述べたゞけですが、さて之が治療法はと申せば勿論病氣の種類によつて手術を要する場合もあれば藥物でなければならぬのもあつて此區別は一寸素人には判斷がつき兼ねます、そこで婦人科專門醫學士が是等の患者を救濟される目的で書かれた『婦人病者の心得』と云ふ本をお讀みになれば、子供の出來ぬ理由や御自分の病狀が明かに判つて何人も家庭で安全に治療する事が出來ます、兎に角ハガキ又は電話にて左記へ照會して御覽なさい『婦人病者の心得』が無代で貰へると同時に能と皆樣の無二の相談相手となつて、子寶と健康とを得られる事と信じます

命の母本舖
笹岡省三藥房
大阪市東區淡路町一丁目　電話本局二二二五
東京京橋區新榮町四の一　電話京橋三三〇一

地方委員募集
職業の餘暇を用ひて從事し得月手當二十圓を給す希望者は郵券一錢添へて至急申込あれ一切の書類を直ちに送附す
東京市小石川　大日本教育會


進歩せる國民には進歩せる藥劑を要す
是が理想的なるは大學目藥也

赤毛染　ナイス
色も艶も申分ない
ゑらが染はナイスが第一
ナイス五大特色
僅二十分で染る、永く剝げず褪めず、艶々と黒く美しく、標枕に浸着せず、用法至極簡易
大瓶六十錢小瓶卅五錢　男子用廿五錢
發賣元　大阪 東京　丹平商會
到る處の藥店化粧品店にあり

瀬戸皮膚科外科醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士　瀬戸潔
（電話二四九八番）
診察夜九時まで

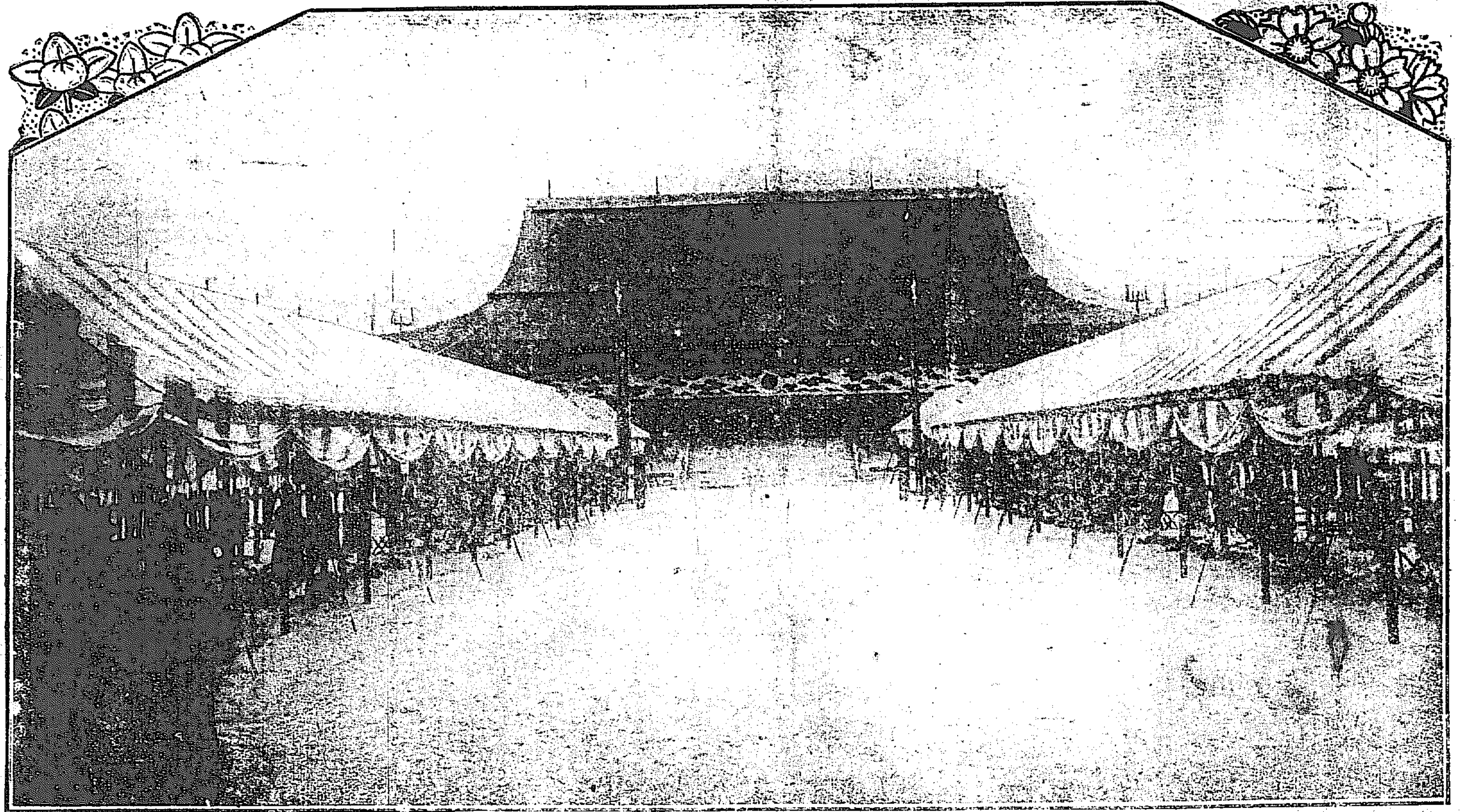
時は今！
秋の野山の紅葉狩、
運動は健康と心膽を練る基！
秋の夜長の燈火の下、
讀書は知識と眞理の庫を開く鍵！

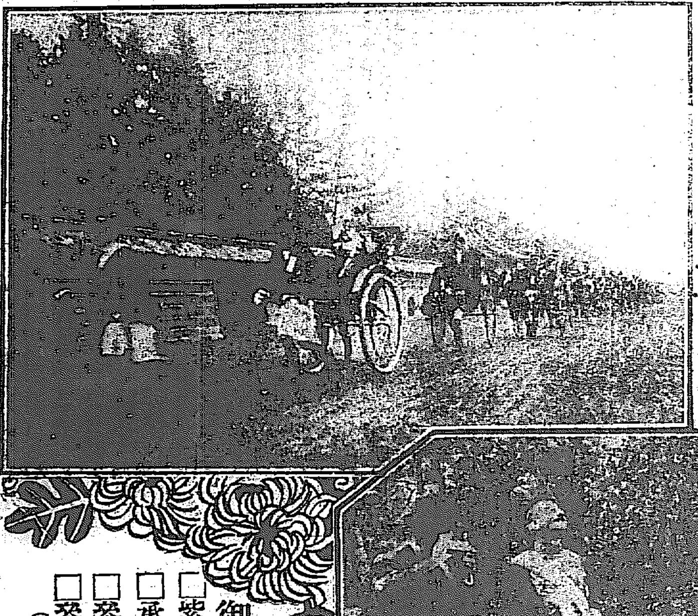
天高く馬肥ゆる今
ライオン齒磨の
愛用は益々心身健康の
源を養ひ、活動力と元氣
とを與ふ。

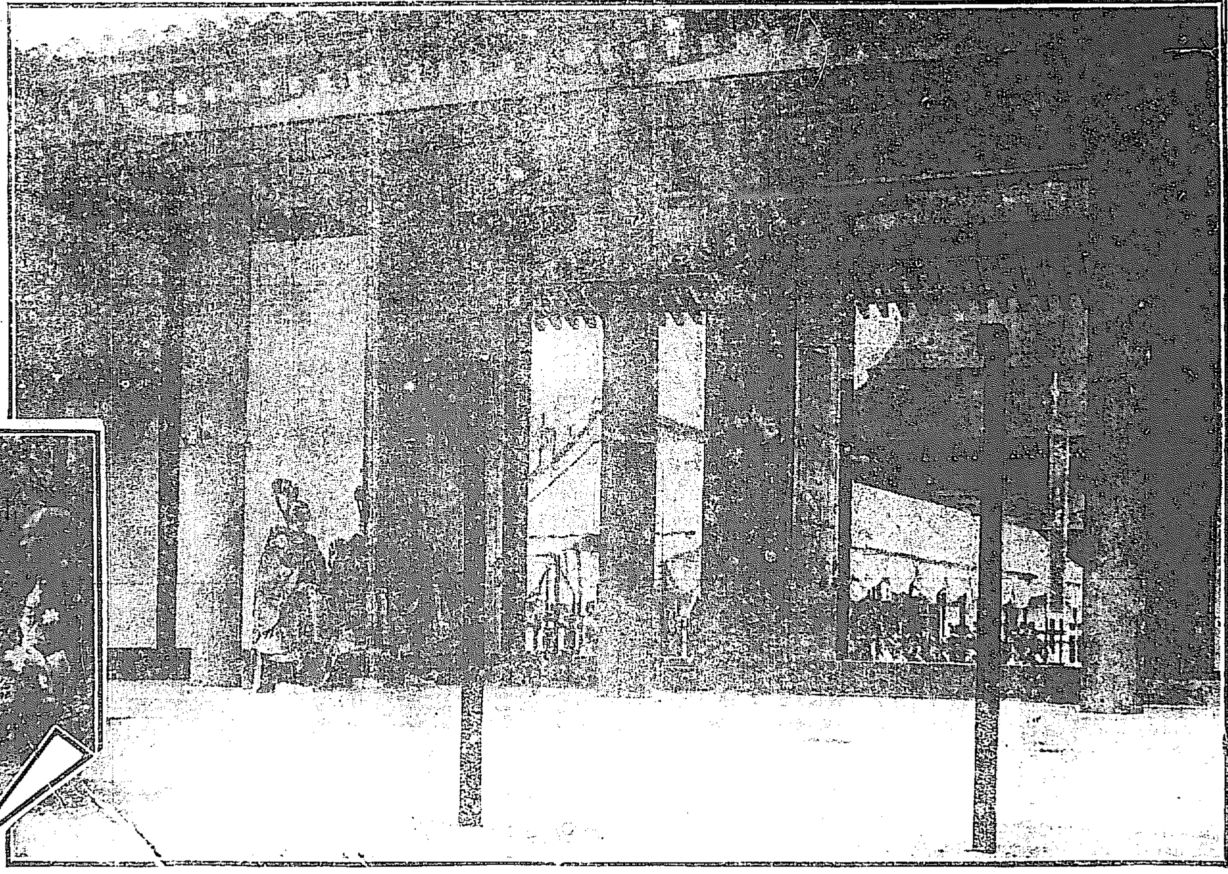
ライオン齒磨　ライオン石鹼　本舗　小林富次郎

京城日報

第三版







御即位式御寫眞

□紫宸殿前庭
□承明門（門内に拜せらるゝは紫宸殿）
□參列の高位高官參内
□參列の外國使臣（中央佛國大使ルニヨール氏）

奉祝御大禮

京城通關業組合

再版

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著

改訂 朝鮮不動産登記
增補 朝鮮商業登記

申請書式並心得

▲紙數四百八十頁。代價金壹圓。郵稅金拾錢

本書中不動産登記の部には土地調査に關聯ぜるもの及不動産登記法に依る申請書式、官公署の登記に關する囑記書式等併て百貳拾餘件並に印鑑屆、印鑑證明願、改印屆、土地變更事項に關する證明申請（京城府所定）委任狀、契約書、保證書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を揭て加之官通牒、登記に關する決議、實例等苟も申請人の參考と爲るべきものは擧て各書式の末尾に之を揭記し以て疑默を釋明し又商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得へき程度に之を編纂せり土地所有者、不動産上權利者、會社、代書者必備の參考書たり

奉祝

京城南山町

清水滿之助京城出張所

電話三四九番

蟻生十郎監修　川端源太郎編纂

朝鮮產業指針

四六倍版 總クロース 金文字入 美装堅牢 五百ページ 定價金五圓

口繪　石版寫眞版數十枚挿入外に人口の分布、產業の狀勢、交通の狀勢等を示めせる地圖を添付す

目次要項（五百餘件網羅）

◎農業の方法及成績◎未墾地開墾の方法及び成績◎蠶業の方法及成績◎水利灌漑事業の方法及成績◎移民の募集配置保護監督の方法及び成績◎林業の經營及び成績◎朝鮮松林の成績◎水源涵養林の成績◎寺有林保殖會の狀況◎宣川殖林組合の狀況◎造林保護並に成績◎竹林經營の方法及び成績◎[illegible]及び石炭鑛業◎石炭及び金鑛業◎金鑛業◎銅鑛業◎捕鯨事業の經營及び方法◎八角網及び[illegible]經營◎沃度製造方法及び成績◎木浦海藻水產組合成績◎灰貝養殖經營及び成績◎[illegible]成績◎巨濟漁業組合成績◎醞控粕製造の方法及び成績◎玉珧貝罐詰製造の方法及び成績◎[illegible]日灣漁業組合成績◎鑑養殖方法◎機張漁業組合事業成績◎皮革事業の經營成績◎莞草製造成績◎[illegible]成績◎煙草製造成績◎繰綿事業の成績◎水上運送の成績◎大同江航運の沿革及び成績◎鴨綠江航路の沿革及成績◎水陸運送の計畫及び成績◎金融及び經濟◎市場經營及び成績◎朝鮮產業現勢一斑

尙送本の都合も有之購讀希望の方は至急申込相成度但し豫約金を要せず

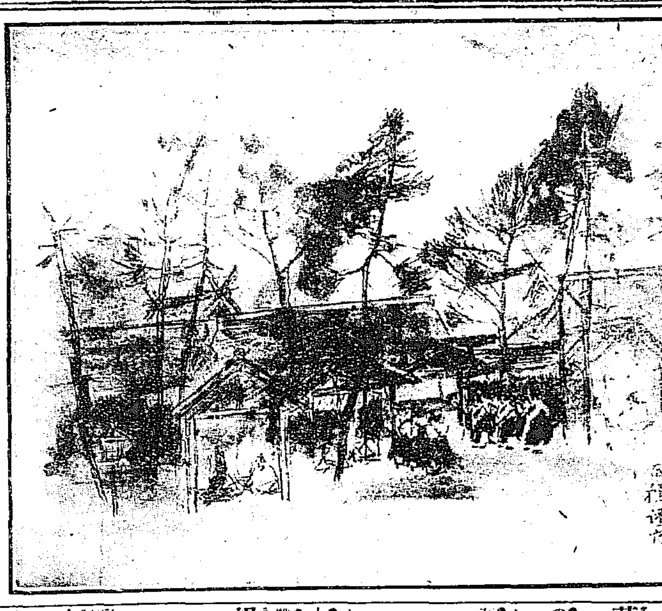
大正四年十二月中旬發行

朝鮮產業指針發行所

京城水標町四二

開發社

電話一五四三番



大嘗祭悠紀殿主基殿ー下村百德謹寫

◎勅使差遣の御儀 幣物御覽あらせらる

十二日朝京都御所にて神宮及皇靈殿へ勅使差遣の儀を行せられ大禮使高等官式部官等著所衣冠單帶劍 笏の大隈首相を始め神宮勅使久我侍從皇靈殿勅使日根野侍從何れも衣冠單帶劍 笏を持し著 所御引直衣を召し給へる 陛下は式部長官波多野宮相以下侍從を隨へさせられて出御親しく幣物御覽あらせられ宮相より勅使に祭文を授け式を了へたり(京都特電)

◎兩王子御西下

淳宮高松宮兩王子殿下には來る二十一日東京御出發京都に成らせられ春興殿に御拜禮の上紫宸殿二條離宮內大饗其他を御覽遊ばさるべき旨仰出されたり(東京特電)

◎元首祝電

大典に對し各國元首より鄭重なる祝電を寄せられたるに付き十二日其れぐ答電を發せられたり(京都特電)

◎特赦御裁可

恩赦の內減刑に就ては十日勅令を以て其の標準を示されたるが他の特赦は上奏御裁可を經ざるべからず復權も亦中立手續を要する爲め追て公表さるゝことゝなり居れり而して特赦は政治犯罪の總てに及び選擧違反を包含すること勿論なるが特赦の恩典は罪に依りて許されず人に就て御裁可を仰ぐものなれば或は東京還幸後に發表さるゝならん(東京特電)

◎內相と恩賜金

一木內相は十二日朝滯京中の各地方長官を招き即位禮當日下賜せられたる恩賜金賜與普及方法に關し懇談的訓示を爲せり(京都特電)

◎宮相陞爵辭退

波多野宮相も陞爵を辭退申し上げたる由なるが宮內官には授爵の御沙汰なかるべしと(京都特電)

◎大典と露各相

日本大使館に於ける御大典祝賀會に首相ゴレミキン氏外相サザノフ氏陸相ポリツノフ氏及び上下兩院議長出席せり(露都電報)

◎駐英大使受章

英國皇帝陛下は日本皇帝陛下即位式に際し駐英井上大使にヴイクトリア大綬章を授與せり(倫敦電報)

◎大隈首相微症

大隈首相は御大典に際し疲勞は言ふ迄も無く運動過度の爲め腳部に擦過傷を起し十一日夜來疼痛を催ふし行幸困難を感ずるに至りたる上腿に腫物を生じ且つ發熱の氣味さへあるより十二日來靜養しつゝありされど元氣は例に依りて益々盛んなり(京都特電)

東京發別電

▲支那正式通告十二日拒絕を聲明する [illegible] 時機を見て外國と協定せん意志なり

[illegible] る可く即ち四國勸告の徹底を見る可

▲印度叛亂と英憂慮 再び [illegible]

▲滿鐵の製鐵兼營 滿鐵會の引揚げ終了せり

[illegible] 剣ね飛ばされ面部及び前額部を負傷 [illegible] 事不省に陷りたるを驛員及び [illegible]

趙明吉(一九)は十月卅一日午後八時半 [illegible] 井洞六十三番地朝鮮舊派演劇 [illegible]

れたるが御同人は二十九日夜午後十二時頃長沙洞張俊朴錦紅方にも侵入 [illegible] 調べ中なりと

支那帝政問題

▲延期勸告と英國外相 叛亂發生の憂慮を認む

英國外相グレー氏は自由黨議員サーコルンウオールの質問に答へて曰く、當時英國が日本の提出せる支那國體變更延期の勸告に對し協同の態度を執りたる理由は之が爲め支那に叛亂の發生せん事を恐れたるに因る蓋し叛亂發生の憂慮に關しては余は少くとも在支英國の一商社より一の警告に接せるなり(倫敦電報)

▲延期は四國操縱の意歟 急速に實行出來ずとの通告

十一日陸外交總長は四國公使を招き國體決定投票著々進行し居るも法律上其他の關係上急速に實行出來ずと通告せるが是れ警告を容れざれば國體變更後其承認を得る能はざるより先づ延期し置き其間に四國を操縱し形勢を見て實現せん爲めと推せらる(北京特電)

▲投票期聲明 明年必ず實行さ

新疆省の投票は違法の爲め取消を命せられたるも十一日政府公報發表の國民會議事務局の新疆への公電には國體投票は本月二十日を越ゆべからずと聲明せり是に依れば支那は同日迄には是非全部の投票を畢らしめ事實の決定を爲さんとするは明瞭なり唯宣布を明年迄延期するに過ぎず(北京特電)

歐洲大戰亂

▲巴爾幹の聯合軍優勢 援軍到りて危急を救ふ=不遠決戰的攻勢を執る地位に達せん

サロニカ來電に據れば八日以來佛國より援軍來著しプリレップ、グレッスコを支配する重要地點たるメーゼンの高地を勃牙利の手より再び奪ひ塞耳維と連絡し以てモナスチールの危急を救助せり、六日拂曉最左翼に於て敵と會戰せり是れ塞耳維戰場に於て英兵が血を流せし最初の機會なり英軍の損害は輕微なり又優勢なる援軍サロニカに到著す聯合軍は間も無く決戰的攻勢を執るの地位に達す可しと(倫敦電報)

▲三國の對希貸附成立

ロイテル社の探知する處に據れば英佛露三國は希臘に對し四千萬法の貸附を爲す協約成れりと(倫敦電報)

▲獨艇三隻擊沈 英艦の手柄

非公式に發表せらるゝ所に據れば英國巡洋艦はジブラルタル海峽に於て二隻の獨逸潛航艇を擊沈したり(紐育電報)

▲汽船擊沈辯明

アムステルダム來電に曰く伯林より達せる半官的電報に據ればアンコナ號(チユニス沖にて墺艇の爲め擊沈せられたる汽船)は遁去を圖りたるを以て潛航艇は餘儀無く大砲を發射したるなりと(倫敦電報)

◎大觀艦式艦艇

十二月四日東京灣に於て擧行の大觀艦式御召艦は愈生駒と決定供奉艦矢矧常盤滿洲に內定せり同大觀艦式に參列すべき艦艇總數は百二十八隻約六千萬噸にして明治初年の第一回觀艦式に比し約數倍なり(東京特電)

◎下院各派と政府

京都滯在中の衆議院各派の態度は大體決定する筈なるが政府は其の態度如何に關はらず歸京後兩院各派代表者を首相官邸に招き明年度豫算內示會を開き併せて海軍擴張に關する說明を爲すべしと(京都特電)

◎本月上旬貿易

大藏省の調査に係る十一月上旬に於ける對外貿易は輸出二千二百四十九萬六千圓にして前年同期に比すれば八百五十八萬七千圓の增加を示し輸入一千二百九十一萬圓にして前年同期に比すれば四百四十二萬三千圓の增加なり更に之を前月に比すれば輸出は生絲、綿絲、羽二重等の重要品を始め其他の諸品の減退に依り一割七分を減少し輸入は砂糖其他の減退より四厘を減少せり(東京特電)

◎南洋諸島渡航心得

臨時南洋防備隊司令官は南洋占領諸島渡航者心得を定め十二日の官報を以て之を公示せり(東京特電)

◎寺內總督健在

寺內總督病氣と傳へし新聞あれど右は虛報にて京都大津屋にあり至つて健全なり(京都特電)

◎野田副總裁轉地

熊本縣日奈久金波樓に靜養中なりし東拓野田副總裁は十一日より人吉林溫泉に轉地約一週間療養の旨通知ありたり

◉冬期の休戰外交の活躍 塞耳維の運命果して奈何 白井陸軍少將談

サロニカ、ヴアルナの上陸聯合軍がよく塞耳維の危急を救出す事が出來れば兎も角も萬一塞耳維が同盟軍に一敗地に塗れたとすればどうだらう塞耳維が獨墺軍に席捲せらるれば先づ新領アルバニアへ逃げ込むより外に策が無い現にニッシュ陷落の後都はアルバニアの地に遷されてゐる然して其時の希臘及びルーマニアは勿論同盟軍側のものであらう

▲塞耳維の沒落が

巴爾幹を同盟軍側のものとしてしまふ事は必定である、然して巴爾幹が獨墺の權下に就くとなれば其影響は直に地中海の制海權に及び蘇西運河の危機を生じ埃及の不安となり小亞細亞、トルキスタン、アフガニスタンの回教徒の動搖、延いては印度の安危をも醸すに至るさうなれば露英は愈々益々困難な情態に陷る獨逸が兵器糧食に困難せりと稱せられてゐても此時は英佛と位置を變へるに至るだらう英國の如きは現在でも頗る窮地にある戰爭當初一年にして百萬の兵を大陸に送ると稱してゐたが其今日の成績果して奈何夫が埃及印度其他の

▲殖民地に動搖を見るに

及んでは想像するだも戰慄を覺える『塞耳維討たざるべからず』と同盟軍が敦圍けば『塞耳維救はざるべからず』と聯合軍が武者震ひする恁くて巴爾幹半島をして修羅場と化してゐる譯である

一體歐洲戰爭の終局はどうなるものだらう是れ誰れしもさう思ふ事であるが恐らく全世界中誰一人之に明答を與へ得る者はあるまい併し乍ら相當の憶測を續けて行けば行けない事もない露は唯一の味方として嚴冬の來るを待つてゐるがそは單に露軍のみで聯合軍にしても獨墺軍側にしても決して冬を味方となし得ない全く緯度の高い

▲歐洲各國の冬は

戰爭も出來やしない位だ冬になると怎しても活動が鈍る殆んど休戰狀態に陷る

此年の冬どうなるか兵も疲れて居るし器も不充分だ互に宜しくなくても自然に休戰狀態に陷る其間は外交の活躍時代だ獨墺の外交が聯合軍の外交を如何に操縱する事が出來るか此冬こそは期待せらるゝ素より今日斷定する事も出來ないが都合に據つては此冬が大戰爭大詰の緒となりはしないか然りとすれば現在の戰況の儘で媾和談判が始められる譯だが人も知る如く戰場に於ては五分五分と言はねばならぬ寧ろ獨墺側にこそ有利であらうが決して聯合軍側に有利だとは言へない聯合軍側にしても容易には承認されない譯だが夫れも結局する處は塞耳維の運命如何に歸する塞耳維の運命が愈々益々重大視せられざるを得ない譯である

大典奉祝

□黄裳元吉御皇猷。一系相承寶祚磐。正朔催來萬歲。衣冠劒珮集千官。燈明欺月天開晴。冬暖如春歲不寒。先帝遺恩今準報。庶民此日各呈歡。 草莽青丘 池昌翰

魯骨 大道 白謹詠

□高御座秋晴るゝ此日待けん 大道 菊子謹詠

□菊の香□神代ながらに高御座 句平 荒巻 九平謹詠

國ッ言の告ける秋映える哉

十一月十日午後一時參謀長室に鼎坐 奉祝の意を表す

小春空書繼に菊の葉を洗ふ 壺水

萬歲の聲滿つ空を菊澄めり 同人

山の國海の國菊の香に醉へる 蟬

鳳凰の名に馳る菊畑霞む日や 同人

菊薰る大八十島の空澄みて 船跡

三時半百一發の第一聲 船跡

大八十島に鳴り渡るなり 壺水

ひとく四海の波靜かなり 蟬

遊僧伽寺次美和尚韻

無佛陳人

一跋一勝境更深。亙巖迴護古禪林。萬緣空去山門寂。會得閑雲出岫心。

人事消息

▲吉村謙一郎氏(慶北事務官) 十一日入京浦尾館へ

▲高野彦氏(大東顯業會社專務) 十二日入京京城ホテルへ

◉縣人會大兎狩

◉來る二十一日(日曜日)午前三時半獨立門に勢揃せし後午後歸途弘濟院佐々氏農場東肥園に於て矢開の事
◉當日辨食は各自携帶の事
◉會費金三十錢(學生半額)持參の事
◉加入申込は來る十八日迄に大和町三丁目小川靖雄方電話一八一一番

熊本縣人會幹事

大阪府人及同緣故者に告ぐ

本會秋季懇親會開催可致候間大阪人及大阪に緣故を有せらるゝ諸氏は萬障御繰合せの上奮て御來會被成下度此段謹告仕候也

日時 十一月十五日午後正五時
場所 南山町一松葉亭
會費 金貳圓
申込期日 十一月十四日正午まで

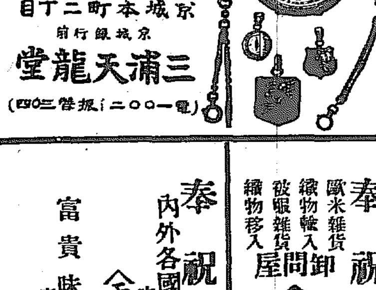
京城大阪人會

申込所
南米倉町 三好和三郎
南大門通三丁目 京城寫眞館
同二丁目 新井藥房
明治町一丁目 小林藤右衛門
同 山野丑松
同 大島良吉
本町二丁目 池田長兵衛
同 木島時計店
同三丁目 三田政商店
同 中村政次郎
京城日報社內 北川吉三郎

羅紗製 防寒用實用 スリッパ カバー
其他各種
御用命の節は見本御送り申上候
特約販賣は特に御相談申上候
諸官學校大學病院 各府縣立病院御用
大阪東區岡山町三八一
製造販賣 濱岡商店
振大阪二五九〇九 電話南四二一七六

奉祝御大典

壹千個限り特價品提供
ニッケルランゲン(梟印)無地十六片
アンクル懷中時計 代四圓五十錢
銀側七石同品 代五圓八十錢
同梨地同品 代六圓二十錢
ニッケルウヲールド梨地十六片
アンクル懷中時計 代四圓八十錢
同專賣側同品 代五圓二十錢
銀同梨地同品 代六圓三十錢
但し何れも鎖方針皮共 期間本年中
滿數の際は謝絕



京城本町二丁目 京城銀行前
三浦天龍堂
(電一〇〇二、振替二〇四)

奉祝御大典
會席御料理
京城本町二丁目
大江戶
電話一四一六番

奉祝御大典
京城競賣株式會社
專務取締役 池田長兵衛
取締役 小林藤右衛門
取締役 永井新之助
監査役 篠崎半助
電話七八四番
取締役 增田三穗
取締役 三好和三郎
監査役 釘本藤次郎

奉祝御大典
京城明治町二丁目
石炭商 村山健三郎
電話一〇五一番

奉祝御大典
京城南山町二丁目
森勝次
電話一五六番

奉祝御大典
大阪商船株式會社仁川支店
電話 一二番 二一〇番 五五〇番

奉祝御大典
總督府度量衡器販賣所
綿糸綿布商 卸商
仁川宮町一丁目
赤松商店
電話七六番 振替京城二三二番

奉祝御大典
歐米雜貨 織物輸入 吳服雜貨 織物移入 卸問屋
仁川港宮町
伊福良助商店
電話百五十二番 振替京城二百八十番 電略イフク又ハフク

奉祝御大典
內外各國食料品一式卸小賣
京城本町三丁目
森川商店
電話九三五番 二一〇七番

富貴味噌製造元
高陽恩平面內洞(獨立門外)
森川萬富園工場

御大典紀念博覽會に於て弊店カステーラは名譽ある金牌を受領せり
京城本町二丁目
永田亭
電話八六五番

[illegible]容認し帝政延期に決したる旨正式通告し來れり

▲支那政府の底意 支那政府は此後一旦國體變更を決定し或る[illegible]政問題に對し[illegible]府も同樣の勸告をなしたり

▲支那態度變調の因由 支那政府の通告は支那の態度變調と見[illegible]に形勢を重大視し憂慮しつゝあるも我陸軍々人側は大事に至らざるものと樂觀し居れり

▲東京天氣豫報 [illegible]りしも十二日より晴天となる

▲白妙引揚終了 驅逐艦白妙[illegible]

[illegible]路工夫鷺梁津生れの椰子[illegible]路監視中後方より列車の進行し來れるに氣付かず機關車に觸れて三四間[illegible]には別條なかるべしと

◎女俳優を狙ふ色魔 京城[illegible]新地五十三番地居住團成社雇夫[illegible]を見て同女の帶を解きて怪しかる振舞に及ばんとするにぞ桂香は覺醒し[illegible]次いで同人の實母朴姓女に取押へ[illegible]人に發見せられて逃走する際同女の衣類一點を窃取したるものにて被害者より告訴され鍾路警察署に於て取[illegible]

京都府廳内に於ける内閣

向つて左より、石井外相、尾崎法相、河野農相、岡陸相、大隈首相、大隈秘書官、一木内相、高田文相、武富藏相、江木翰長、加藤海相、前面椅子に倚れるは箕浦逓相

◎榮ある高齡者

▲八十三歳で冷水摩擦

宇都宮技師の嚴父務翁

今回天杯を拜受した高齡者の内に宇都宮務（八二）といふ名前がある、總督府技師で農商工部に出て居る宇都宮寛氏の嚴君である、西小門町の官舍に訪ねると主人の寛氏も務翁も在宅とあつて應接間に通される、卍の紋のついた絽入羽織に腹蒐の毛皮を暖かさうに頸に卷いて眼鏡もかけぬ小さな眼を瞬りながら明晰な口調で話す翁はどうしても八十三歳の高齡とは思はれない程の元氣だ、矍鑠壯者を凌ぐといふ形容詞は此の老翁に用ひて始めて活きて來る『俺は福井の者ぢやが十六の時藩に仕へて御維新の前まで勤めて居りそれから後は六十まで役人をしてゐたが病氣など付け滅多にせぬ、此の通り丈夫ぢや、あんたは恁ういふ事を調べて歩く御商賣かな、御苦勞な事ですのう』とは吾々若い者には耳新らしい翁の言葉である、寛氏は『父は非常に養生をする人でしてね酒は若い時には餘程飲みましたが唯今では晩酌に少し飲む位のものです健康法としては如何なる嚴冬でも冷水摩擦を續け今でもやつてます、それから就寢前には百回位宛按腹して寢ます。昨年朝鮮に來たのですが病氣といふものを殆んどした事がありません、若い時腸を患らひ亡くなつた同藩出身の岩佐男の診察を受け其後六十歳の時に腸に癌が出來たといふので橋本博士の診察を受け赤十字病院に入院したが幸ひに癌は無かつたので何の事もありませんでした、運動と言つても普通に勤めて今のなら宮内官といつた樣な事をしてゐた時御領地の乙女川といふ所に獵に行つた位のもので別に擊劍柔道などに凝つた樣な事はない、別段道樂と言ふ事も無くお國風の菊作りをして居る位のものです』とは寛氏の話である、此の位古稀の齡を重ねて壯健で天杯拜受の榮譽を擔ふた翁は洵に幸な人である

▲曾孫四人が揃つて壯健

九十五で針仕事をする 青葉町一丁目四十六番地に張召史（九五）といふお婆さんがある寄る年波は爭はれないもの眼もしよぼ〳〵して居り顏は皺だらけだがそれでも針仕事は平氣でやりますといふ程丈夫である、夜もよく寢ます食事なども普通の人と變りはありませぬといふ、お婆さんには今年三十二になる孫があつて曾孫が四人もあつて皆無事で居るさうだ

▲黒頭巾を戴いた好々爺

九十の松浦四郎右衛門 龍山鐵道官舍三十七號の五の鐵道員山下甚五郎といふ人の細君の實父で松浦四郎右衛門（九〇）といふお爺さんを訪ねる、喘息でも患らつてると見えて絶えず苦しさうな息づかひをしてゐるがその娘さんのいふ所によると生れは福井で若い時から百姓をしてゐたが頗る達者で耳は聞えないがその外には何處も惡い所は無く壯健であるさうだ、黒い頭巾を冠つてニコ〳〵しながら遠慮深い態度で話をする所は全く罪のないお爺さんだ

◎私一個の光榮でない

原田同志社長談

今回叙勳の榮に浴せる同志社長原田助氏を訪へば氏はフロック姿にて賀表捧呈の準備中なりしが謙遜の態度にて記者に語つて曰く『實は約二箇月程以前京都府廳から私の履歴を出せとの事で早速差出して置いたが今から考へると御沙汰の御準備であつたと見えます、御承知の通り私は教育界に身を投じてから日も淺く從つて斯界に何等貢獻した事もないのでありますが多分同志社四十年の育英事業を御認めになつたのであらうさうすると原田個人に下さつたものではなく同志社々長に下さつたものであらう、過日の御下賜金と云ひ此の度の叙勳の御沙汰と云ひ私立學校として立つた同志社が斯かる光榮を有するに至つた事は實に天恩の優渥なると先輩諸氏の犧牲的精神が今日の結果を齎らしたものであつて私一人で此の無上の光榮を私すべきではありませぬ（京都より）

紅葉の天下

□三角山上の燃ゆるが如き欅の紅葉

京城の背後に連る北漢山はむかしから三角山と稱し高麗の吳洵と申す人の詩にも『聳空三朶碧芙蓉、縹緲烟霞幾萬重』と記した文句が見えて居るが、現に私共は十一日の朝八時に鍾路を發足して同十一時頃三角山の西峰僧伽寺に著き親しく詩中の壯觀に接したのである、道は景福宮の側から北門彰義門に出で石坡亭の紅葉を賞しながら洗劍亭谷間の村を眞北に進めばよい、そして愈よ山麓から登り始めた景色はなか〳〵に面白い眺めである、元來京城の北門裏の村落はむかしから果物の村として有名な所で其處此處の畑に栗、柿、梨などの林が見え又果樹や欅やポプラの紅葉が洵に好い眺めである、三角山は御案内の通りの山脊露はなる大岩石と禿土許りの北宗畫式であるが還は例の『嶮岩山路險、携杖更攀躋』の趣きで、嶮巇なれども私共に言ふ可らざる興味が湧く、

▲愈よ絶頂間近く

登つて遙かに頭大きな岩角を廻つたとき、先頭の姜大蓮の上の懸崖には燃ゆるが如き欅の紅葉と轉げ落ちはしないかと思はれる許りの山寺が見えた、成程和尚は愈よ來たぞと莞爾する、われ〳〵は僧伽寺の境内に著いたのである、寺の眞下に天を摩する巖岩の峯と千仭の幽谷に臨むだ類ひ稀なる勝地であるがよくも恁麼所に人間が棲まつてゐられるものぞと思はれる程な所である、折から南の方を俯瞰すれば

▲縹緲たる霞海の

間遙かに水原仁川あたりの連峯波濤の如く、漢江は鉛色の如く鈍く輝く。高麗の兪元淳の詩に『崎嶇石棧躡雲行、華構隣天若化城、秋露輕霏千里爽、夕陽返浸一江明、澄空嵐細連香穗、啼谷禽閑遞磬聲、可羨高僧心上事、世途名利摠忘情』とあるのは此の山寺の抒景を盡して居る、栗や柿を饗應した山僧の談では此寺に霧が立罩めると數歩の外が見えなくなり、風吹けば屋根の瓦を飛ばし

▲雨が谷間にのみ

降る奇觀もあると云ふ、寺はむかし新羅の僧秀臺の岩を開き窟を作りたる處、むかしから國土の安泰、水旱の災を祈禱したものであるが、佛殿には極樂寶殿と靈山殿とがある又後の岩窟には清らかな藥水の泉があるが眞暗の洞穴を蠟燭の灯で進むのは少し氣味が惡い、山僧の曰く夏は此の藥水

▲數百年のむかし

高麗朝の爲めに數千人の登山者を見るが若し不淨の女が此處に來ると大木の如うな大蛇が現れる……と左樣なれば猶更以て氣味が惡い、私共は又其の裏の自然石に鐫つた三丈餘の大觀音の像をも拜むだが彫刻は時代に出來たもので頗る美事なものである同行閔子爵家の閔大植氏は頗る歴史と烟霞癖の人であるが境内の埋れたる礎石にも石階にも悉く古き昔しの氣分を味はれたやうであつた無佛先生は崔致遠の書いたものがある筈だがと――頻りに文獻の闡索に餘念なく記者は山僧の精進料理をたらふく喫べた、歸途は霞晴れて一望千里、京城も龍山も漢江も指呼の裡にあり、脚下の村には又紅葉綾の如きを蹟て、實に盛況であつた。

◎五節の舞姫達に

緣談の口が降るやうにある

來る十七日の大嘗第二日の當日二條離宮大饗宴場豐樂殿に於て五節の舞を舞ふ貴族院議員伯爵清閑寺經房氏令孃歌子（二〇）の方を始め石野和子（十九）山本直子（二二）同冬子（十七）萩原種子（二〇）高倉則子（十九）船橋厚子（十八）持明院岩子（二〇）の姫達は何れも此有難き御奉公を一門一家の光榮とし早や當日の來るを指折り數へて待侍り居れるが之等姫達の中にて清閑寺歌子は既に親族に當る東京の吉田男子息と緣談整ひ五節の舞を無事に奉納さへすれば來月中旬を以て京都にて芽出度く華燭の典を擧げらるゝやう婚約整ひ目下内々其準備をして居らるゝが其のほかの姫達にも結婚の申込が頗る多く先づ石野和子方へは九州の貝島炭鑛王の紹介で東京の或る實業家から申込みがあり仕度萬端は及ばずながら此方から[illegible]との話もあるが親御の方では今尚ほ詮議中である、また姫達の中で一番美人だと評判の高い高倉則子の方は父永則氏が京都聯隊區司令官の職掌柄矢張軍人からの申込が頻々とあつて斷るに骨を折つて居らるゝ次第だが何うやら東京某男爵の子息で呉に居らるゝ某中尉の方と略ぼお約束が出來たさうである、持明院岩子も京都のある講家の紹介で實業界で相當劇の利いて居る人から是非と懇望され萩原種子は父貴種氏が京都御所に居られる關係上目下宮内省に奉職せる某技師から是非にと熱望されて居るが御大典の濟んだ頃には何れも芽出度く話が整ふだらうとの事である（京都）

□藝術座の新社會劇

想像した舞臺

◎藝術座の藝術座劇は今十三日から出し物を代へて中村吉藏作新社會劇『嘲笑』（一幕）及び『飯』（一幕）とワイルド原作の『サロメ』（一幕）を上場する。

◎芸劇『嘲笑』と『飯』は讀んで見ただけでも確かに面白い芝居である『嘲笑』は實業界の大立物として羽振のいゝ倉野庄吉が七十歳の老體にも係らず花の盛りの十八歳のお光といふ姿を置いてゐる。然かも一方には實業界の[illegible]に推されて品行方[illegible]な顏をしてゐるが、ある貴族の[illegible]男でその養子になつて居る幸介も交を[illegible]見眞似に藝妓上りの妾お千代を本宅に入れたので、不要お光の嫉妬から父に妾を放逐させ、その間でお千代をも放逐しようとするところから起る家庭の波瀾を一幕に縮めて見せてゐる。

◎『飯』は世の中のどん底に生きてゐる人々の世だを描いた態度で難を棄てゝ醫の場末の貧民窟にこつて夫に捨てられた土方の女房のお市が『馬肉の汁をかけた暖かい米の飯をたべ』たさに、いやしくながら馬肉屋の老爺のところへ嫁くといふ大前に細かな事件を綯ひ交ぜて、考へやうによつては所謂現代の社會生活に幾多の問題を提供して居る作である。

◎吾々のやうに祖國を遠く離れてゐるものにとつては、常に喚ばされる所謂新らしい脚本を讀むだけの便利とそれを讀んで、自分の頭の中へその場面を思ふまゝに形づて見るだけの自由さは有つてゐるけれども、其舞臺の效果を直接舞臺に見る機會を多く有たない。

◎此等の讀んで面白い脚本なる藝術座では何れだけに面白い舞臺として吾々の前に提供するであらうか。吾々があの脚本を讀んで頭の中へこしらへて置いた倉吉に比べると、あまりに作為した感傷的な人を見せられて、吾々は『劇力』の主人公倉吉に、[illegible]一人であるが、[illegible]を有つた[illegible]

◎『サロメ』は天勝のサロメといふものがつい先頃京城の人々の目の前に現はれたが、彼女は奇術師といふ立場から妙なトリックを用ゐたゝめに、藝術の效果が不純なものになつた。藝術座劇がいかにあのワイルドの描いた感じを見せるかはまた吾々の期待の一つである。藝術座の多く可き道が外國物を演じこなすといふよりも寧ろその閾を破つて日本特獨の新劇を生み出さうとするにあるならば、吾々も藝術座の新社會劇の演出に興味の中心を見出したい。

『嘲笑』と『飯』とが如何に演出されるかが吾々にとつて多くの興味ある所である。

[illegible]を爲し一般觀覽を許す事となれるが其他相撲、柔道、擊劍及び種々の餘興を催す由にて午後五時頃終了の筈

◎壽座の須磨子

藝術座一行今十三日夜の出し物は新劇會劇『嘲笑』『飯』及び『サロメ』にして龍山よりの觀客には切符賣捌所にて特に電車の往復乘車券を添ふ可し

◎朝鮮銀行共進會記念號

朝鮮銀行『共進會記念號第二』湖南號は曩に江湖の好評を博し數千部の再版を爲すに至りしが今回復た『共進會記念號第二』を發行し閑院宮殿下御來鮮中の御動靜を初め共進會開會式より閉會式迄の詳細の狀況及び經過並に各種大會の精密なる記事を掲ぐる外別に附錄として出品物審査概評及び名譽金牌●銀牌●銅牌●褒狀に至る迄受賞者全部の氏名を載せたり

◎日宗婦人會

旭町一丁目日宗寺にては來る十三日午後壹時より日宗婦人會第六十二回例會開催し[illegible]の法話あり

◎定期乘車證の著色變更

鐵道局にては來る十二月一日より發行すべき來年度定期乘車證の著色を左記の通り變更の旨十二日發行の同局報を以て表せり

職務乘車證 薄茶色
待遇乘車證 揚柿色
新聞通信記者乘車證 小豆色

◎艦上の戰鬪動作

十三日日進艦上にて 仁川港碇泊日進にては十三日午前九時より戰鬪動作（水雷發射大砲發射）

京日案內

◎普通 一回前金三十錢（無割引）名一回每に金五錢增

◎被雇度 土木建築測量設計監督請負業に有經驗希望者乞御照會 釜山停車場前岡本旅館方△橋本恵 864

◎御旅館 一泊金五十錢より ◎御下宿 一箇月金九圓より 京城本町三丁目電二九三番 大和館 935

◎事務見習員 年齢十七より廿迄至急入用希望者本人履歴書携帶[illegible] 9[illegible]

ほねつぎ うちみ、くじき治療 明治町（四ツ角を東坂上ふらんす前）菊川仁壽堂 電話二五九五番 790

◎有給外務社員採用希望者履歴書持參面談の上 京城本町四ノ一三二 蓬萊生命保險相互會社京城支出張所 897

◎番外 一回前金六十錢（無割引）

平壤名産 玄武燒栗 生栗御土産 京城旭町一丁目 取次一[illegible] 玄武堂 819

◎移轉先 本町四ノ四七大東 鍼灸術按摩術 醫鍼堂 術者 萩原太田谷金丈 電話二五五五 917

日鮮人外交員募集 女子又は高小卒以上常方住 月給七圓以上十五圓迄十七日十八日午後四時履歴書携帶來談あれ 京城吉野町一丁目九一番地 明治産業株式會社代理店 吉田 919

當店代替りの風評有之候へ共事實無根にて不相變從前通り親切丁寧に取扱可申候（支那領事館筋） 明治町二丁目八〇九六番 電話一〇九六番 ◯南質店 873

皮膚科花柳病專門 永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二〇二番 802

内科婦人科 難症治療 京城南山町二丁目（喜久家の下）電話四番 一二元堂醫院 840

◎ほねつぎ うちみ くじき等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 847

恩給年金類立替 京城御成町 電話二七七番 山口屋 855

◎恩給年金類立替 今般業務擴張の爲め左記處へ移轉す（黄金町通櫻井町へ入る西四ツ角） 長電話一一三一番 博多屋本店 856

恩給年金類立替 京城若草町一丁目一〇六井出邸内 電話二二六三番 西村商會 857

◎外事員 南安兵衛 右解傭候に付此段廣告候也 日本公債株式會社朝鮮支部 900

◎貸家 瓦葺平屋建八疊以下六間 南山麓瓦葺平屋建六疊以下四間 風呂場付き閑靜眺望絶景 龍山電話五五一番 龍山本町寺前商業門構 同文平山 藤田組 98

◎京城附近畑貸地 果樹蔬菜好適地料低廉 京城黄金町四丁目 電話一〇一四番 内藤 910

質店 ふとんあずかり 本町四の一五 電話一〇三 懸店は完全なる倉庫を有し惡しからず債券公債買受申候 三福田屋質店 783

別染 印入手拭 御照會次第手拭の雛形呈 大阪市東區南久太郎町四丁目 上村商店 振替口座東京一〇〇五六番

フェロール 美味葡萄酒以上 滋養分少くもなし 驚くべき滋養分 理想的の强壯劑 フェロール

ウマイ ウマイさ フェロールを（一名滋精）飲むうちに病人は力附き虚弱者は健康に健康者は益々强壯に病を知らぬ人となる 大瓶（半月分）壹圓八拾錢 小瓶（七日分）壹圓 創製元大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛 賣捌は各藥店にあり

金牌受領 上酒壹升に付四拾錢 卸賣は特に割引可致候 清酒味淋燒酎 釀造元 京城櫻井町一丁目 電話百七十七番 中井酒造場

京城黄金町二丁目 洋服店 丸一綿部 電話二三三一番 振替三六五 毛布 薄利多賣

小兒科專門 内科 若槻醫院 京城旭町三丁目（元十全病院跡） 電話二四六二番 ドクトル・メヂチーネ 若槻寛隆

醫化學諸器械一式 Ⓚ 北島藥店 仁川本町 電話三三四・振替京城六七番 京城支店 京城永樂町本町角 電話七六二番

藥種賣藥卸商

食料品雜貨 食料品 果實 海産物 果實青物 問屋 岩城馨商店 京城旭町一丁目（電話八四二番） 振替口座京城一〇〇六番 南大門市場卸部

發行所 合資會社 京城日報社 京城大平通一丁目

千生瓢（30）

須藤南翠作　筒井年峰畫

密計（七）

いかにもして城中に忍び入り、山路が拇妻に對面して、所在をも慥めん本心をも探らんものと、種々に苦心したが、秀吉歸城のためと覺しく、城中の出入は嚴重になつて、他國者の魚商人等が、容易く近くことも叶はなかつた。

忠左衛門は殘念に堪へられなかつたが、城門近く徘徊して、番卒の疑ひを惹くのも要のない事と思ひ返して、漸く城を離れたが、さればと言つて、直濱へ出て船に歸る氣にもなれなかつた。で、此町外れにある本願寺の御堂に詣で、境内の鴨脚樹の根がたに腰を掛け、此上いかにして細作を盡くさうかと、其ばかりを思案してゐた。

丁度其處へ下向の侍士が通りかゝつた。何の氣なしに其顔を見ると、思ひがけない山路多八郎であつた。忠左衛門はあはや聲をかけようとしたが、辛く唾を呑んで控へた。加賀越前は今も本願寺の勢力は衰へぬ。武家の多くは永平總持の洞門に歸して居るが、内々にて一向專修を奉ずる者も少くない。山路も其一人であらうと思ひながら、其跟を隨けて行くと、彼は市中の往來を避けて、田圃中の捷徑を取つた。衛と駈け過ぎるやうにして、其耳にだけ聞えるやうに

『久しうおざる山路殿、宇野おざる忠左おざる』と吹き込んだ。

『ヤツ！』

多九郎は足を留めた。急に隨へた下僕を顧みて、

『其方町へ參つて、いつもの母上の御合藥を買ひ調へて罷り歸れ。身は一足先へ歸る』と言つて、下部を遠ざけた。

『宇野殿おざつたか、餘り思ひ懸けないため、殆ど耳を疑ひ申した。此湊までの御細作、御辛勞嘸かしと存ずる』

『忠左身に寸鐵も帶び申さぬ、敵と思し召さば討取つて御披露あれ』

『いや〱入らざる御懸念、胡馬北風に嘶くの譬へ、花に背いて歸る雁にも、思ひを惹く某兄弟、決して御心遣せられまい』

『其御心底眞實おざるか』

『何僞り申さうぞ。餘儀なく羽柴が下知に從ふものゝ、心は柴田殿家人おざる』

『さらば兄將監殿、何れの砦に籠めらるゝか、其承はりたい』

『堂木山の砦に籠り居り申す。彼處は蜂須賀彦右衛門、木村小隼人佐相守る、兄は即ち其添人おざる』

聞き終つて忠左衛門は潸然と涙を流した。

『能くぞ仰せ聞けられた。御兄弟匠作の舊恩お忘れなくば、頓て目出たく本國にて、再會の期もおざらう。是にて御暇仕る。返す〱も匠作御運の開くる日を、心永く待たせられよ』一禮して去らうとした。

『待たせられ、宇野殿、匠作への御土産のおざるに』

『何、殿へ御土産とや』

『美濃の押へ手薄と見て、瀧川左近將監一益殿、蟹江城より討つて出で清洲の北畠殿を追ひ落して、先度の耻辱を雪がう結構。瀧川殿清洲を陷されば、尾張は固より、美濃も彼方の方に靡きて、由々しき大事となり申す、さては、油斷なりがたし、柴田を此處に抑へ置きて、一先づ美濃に取つて返し、先づ瀧川を押片付け、三七殿を亡して、後徐ろに柴田に當らうとあつて、今宵秀吉當城に引き返し、明日、明後日には、美濃に發向致すべきよう、聢と御承知あつて、匠作の御遺算なきやう、委細言上せさせられへ。是吾等兄弟が、敵にして敵にあらず、飽まで忠を北國に抽づる證左、篤と御意見下し置かれへ』

多九郎は是だけの事を口速に語つて、道を變へて城に歸つた。忠左衛門は感涙に咽ぶばかり、若しも盧しからぬことを從んだ、急ぎ濱に取つて返して、海津の歸り船に乘り込んだ。十三里の水上、遲い船脚を焦燥しく思ふのであつた。

新刊と雜誌

▲中學生叢書 中學校の硝子窓の中より　現代の中學生の讀物として適當なる出版物の少いさいふ事は誰でも物足らなく思つてゐるところである、何か興味の上からも思想感情の方面からも中學生時代の少年の愛讀に値するものが欲しいといふ要求に應じようとして出版された中學生叢書の第一編が此『中學校の硝子窓の中より』である、内容は此編では面白いものさいふ事に留意を置いたらしく中學生の生活に喰ひ入つた色々の小品を蒐めてある、附錄の『元祿快舉の年少者』も若々しい感情と力強い生々した文章とに少年の心を惹くに足るものがある、價の思ひ切り安いのも此種の出版物としては歡迎す可きものだ（定價三十五錢大阪北區北野桑屋町百九十九中學生叢書發行所）

▲布教會（一の二）　京都烏丸大谷派本願寺の布教雜誌なり（同佛教學界）

▲旅行俱樂部（一の一〇）　十五錢東京市小石川區大塚中町三六帝國鐵道新聞社内全國鐵道旅館同盟會

▲國民文學（短歌號）　東京市小石川區洲崎町七四の一八國民文學界

▲珠算捷徑（石橋梅吉著）　計算上最も早い珠算の研究に名ある著者が其早學びに就て記したるものである（定價四十錢東京市神田區三崎町三習文堂）

▲宮詰萃珍（奬國宮蓄原著）　米國人ホーゼンの原著を日本人石山福治氏の校訂した支那現代會話篇である支那間迫八ヶ間しい昨今必あるものは讀むべきである（定價一圓八十錢東京市本郷區一の六文求堂書店）

▲古典講義錄（八卷）　本年一月新道の有志者が發起し創立したる古典攻究會にて成る意味にて製したる神道・典子なる大家に氏が讀破したる古事記の傳記にて毎號所に同記の本文を卷頭に鈔錄し又其名大家の關係諸述意見等を添附しあり我が國體、神道、大和魂の創眼研究には無二の大文章なるべし（地方會員月費三十錢東京日本橋上槇町八其會）

▲病虫害雜誌（第二卷第十一號）　東京小石川區原町一二、日本植物愛護會（十五錢）

▲園藝の友（十一月號）　菊の栽培手入法に付特に叮嚀なる說明あり（東京市本郷區眞砂町七日本園藝研究所發行定價二十錢）

▲教育の實際（十卷一號）　國民性涵養の好機を逸す可らず（社說）大典記念生活の革新なご時機に痛切なる言論多し（東京日本橋本石町賢文館定價二十錢）

▲學校教育（二十四號）　例に依り記事豐富なる上に御大典に關する講說多し（東京日本橋本石町寶文館本號特に三十錢）

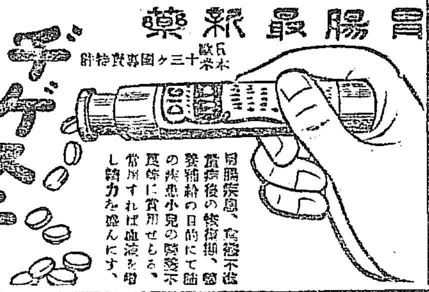
▲少年世界（御大禮記念號）　卷頭には奉祝大典劇會、秋のよろこびの美しい口繪がある、讀物には御大典に就てのお話や坪谷氏の朝鮮みやげなごあり小波先生のお伽小說寶の羽も面白い讀物だ（定價金十錢東京市日本橋區博文館發行）

▲少年俱樂部（快男兒號）　世界の快男兒物語を集めた本號は血湧き肉躍るの面白味に滿ちてゐる（定價十錢東京本郷區駒込大日本雄辯會發行）

▲コドモ（十一月號）　天皇陛下の行幸や通關會、神武天皇御即位式、菊畑など美しい繪がたくさんあります（一冊十錢東京小石川區林町コドモ社發行）

胃腸最新藥 ヂゲスチン

日本歐米十三ヶ國專賣特許

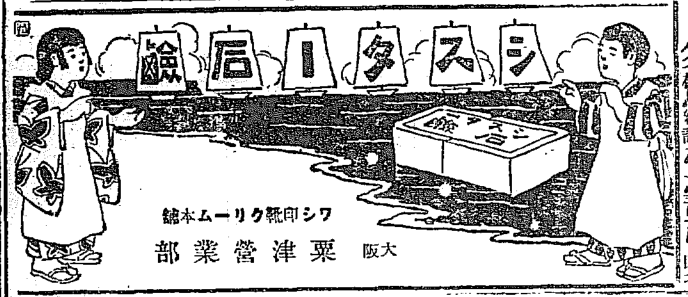


胃腸疾患、食慾不進、消化不良、病後の快復期、胃腸虛弱者の常用、乳兒の吐乳等に常用すれば血液を增し精力を盛んにす

●說明書送呈　東京本町　合資會社　圓城商廛

讀書家の福音

東京芝區櫻川町六三谷書店は諸家諸賢の便宜を計り最も親切に廉價にして如何なる書籍雜誌も直ちに取次す
後一日にして送本す
十一圓以上は往復ハガキ
注意　送金は爲替又は郵券一割增
勿驚壹割引　取次



ワシ印紙クリーム本舗

大阪　栗津營業部

▲垢ヌケする成分を含む 美顔水

學者の研究發表　新美容素の完成

▲垢ヌケする譯

▲ニキビ吹出物を治すには…？

都育の人は一般に山家育ちの人より垢ヌケして居ますから、都育ちの人は美しいと言はれるので、此「垢ヌケ」が無かつたら目鼻立なぞでは那麼に甚く變つてゐるのではありません。それ故美しくなるのには「垢ヌケ」が一番に必要だといふ事がお分りになりませう。

所で垢ヌケするのには、皮膚の新陳代謝と言つて、陳い汚い表皮を、新しい美しい表皮と入代へる、元來皮膚に具つてゐる作用を一層活潑にさせるのが第一ですが、其作用を極めて活潑にする成分を含んで出來てゐるのが美顔水で、殊に桃谷研究試驗部の學者が發見した新しい美容成分を原料に加へてから美顔水の効力は一層強くなつたので有名です。ですから美顔水を一瓶や二瓶で止めず、朝夕續けて使つてさへ被居れば、垢ヌケした眞に美しい人となられるので、上中流御家庭の御賞用が益々盛です。

次に同じお化粧でも、ヤボな田舍臭いお化粧と、スツキリと垢ヌケして、如何にも氣持よく美しいお化粧があるものですが化粧用美顔水で白粉を溶いて附ければ、白粉のノリやノビが非常に良くなり思ふ儘美しいお化粧が出來、殊に其化粧振がスツとして、垢ヌケのしたほんとうに美しいお化粧となりますので大層重寶がられて居ります。

尙ニキビや吹出物を治すのには別に「ニキビとり美顔水」がありますから其れをお薦致します

名譽の美顔白粉を創製せる
桃谷研究試驗部

■顧問　丹波藥學博士　山本醫學博士
■專任　桃谷藥學士　小磯藥學士　齋藤藥學士

發賣元　桃谷順天館
東京麹町區飯田町六丁目
大阪西區靱南通二丁目
電話　麹町特長一四一番　土佐堀長六四七番　土佐堀六四八番　南　四八二七番
振替　東京一五〇八八番　大阪二九〇一番

2075.262

大阪株式特電

（十二日後場）

鐘淵紡績	一二二、四〇
同　新株	九四、二〇
東洋汽船	七二、五〇
大阪商船	八五、五〇
日本郵船	一一三、五〇
大阪電燈	一三八、二〇

下期米

	前場	後場
十月限	一一七、一〇	一一七、二〇
十一月限	一一八、一〇	一一八、四〇
十二月限	一一九、三〇	一一九、三〇
一月限	一二〇、五〇	一二〇、三〇
二月限	一二一、三〇	一二〇、九〇

大阪期米特電（十二日）

▲後場　當限寄付十三圓三十九錢中限寄付十三圓四十八錢△先限寄付十三圓九十四錢

▲後場の商戰　と據げたるも氣勢添はず四十錢と押して依然保合の體に放置した引値大阪後寄十三圓九十四錢と入電ありたり

（西）百石買（東）五百石賣（三）百石賣

▲本日の現物界　は不相變不商保合にて取り立報道すべき材料更になく一般見送り商機俟ちである

▲精選米手合　千一二百叺不二程本へ出來高に五錢含み

△檢米の成績

十二月の一月猷

新刊書御案内　大阪屋號書店

京城本町　電話二〇八六番　振替京城二五七番

大正五年日記

書名	著者	定價
重要日記	實業之日本社	四〇
婦人日記	同	三八
懷中ノート	同　總布	二〇
同	總皮	三〇
農業日誌	文運堂	四五
臺所勘定帳	同	二五
國民日記	民友社	四五
修養日記	東亞堂	五〇
俳句日記	東亞堂	四〇
短歌日記	同	四〇
婦人日記	積善館	三五
當用日記特	同	四五
同　上	同	三五
同　小	同	三〇
新式當用日記總皮	同	六五
同　總布	同	四五
懷中日記總皮	同	三五
同　總布	同	二五
同　特	同	二五
同　上	同	一五
同　並	同	〇八
同　大	同	二〇
實用ポケット日記總皮	同	五〇
同　總布	同	三〇

皮膚科

入院隨意（診察夜九時迄）

皮膚病　黴毒病　淋病　膀胱病　生殖器　機能障礙

日曜祭日午後二時迄

京城明治町二丁目（元町）

佐藤醫院（電話一七三番）

日本郵船仁川出帆

○三河丸　大連、太沽牛莊行　十一月　日午前六時出帆
○高砂丸　相模丸　大連、太沽行　十一月廿三日　十一月三十日　正午出帆
仁川海岸町二丁目　電話十一番　堀回漕部

朝鮮郵船

本社　京城南大門通　電話（長）一九二三番
京城南大門ほか出張所代理店　松原運送店

○全羅丸　十一月廿四日
○京畿丸　十一月十四日
○黃海丸　十一月十八日
○成鏡丸　十一月廿九日　門司より釜山各港經由
○城津丸　十一月十九日
○昌平丸　十一月十三日　元山發
○鏡城丸　十一月十五日
○平壤丸　十一月廿七日　元山發
○忠淸丸　十一月十七日　元山發
○永興丸　毎月廿八回　元山發
○嘉島丸　十一月十三日　釜山發
○江陵丸　毎日　釜山發
○三浦丸　十一月十六日　釜山發
○海州丸　巨濟丸　慶寶丸　毎日　釜山發
○順天丸　三日目毎　木浦發
○慶興丸　十一月十五日　木浦發
○公州丸　十一月　日　木浦發
○公州丸　十一月十七日　木浦發
○宗信丸　十一月　日　仁川發
○江原丸　十一月十五日　仁川發
○晉州丸　麗水丸　十一月十八日　仁川發
○全南丸　陽丸　毎日午前　仁川發
○平安丸　十一月十六日　仁川發

尼崎汽船仁川出帆

京城本町　電話二〇八六番

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
秀吉丸　十一月　日後四時出帆
君が代丸　十一月　日後四時出帆
神代丸　十一月　日後四時出帆
大有丸　十一月　日後五時出帆
第二太湖丸　群山、大阪行　十一月　日後四時出帆
土海丸
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行（一割引を以て連絡切符發賣仕候）
○外航船、所屬郵船（遼陽航路を除く）の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行
漢城丸　十一月　日
溫州丸　十一月　日午後五時
油頭丸　十一月　日
○木浦、釜山、長崎行（▲は鹽原島の浦に寄港）
安東丸　十一月　日
▲大智丸　十一月十八日　午後二時出帆
○鎮南浦、大連行
安東丸　十一月　日
天智丸　十一月十四日　午後二時出帆
○木浦、神戶大阪行
薩摩丸　十一月　日　午後五時出帆
○群山、釜山、横濱行
千珠丸　十一月廿六日
チヨイサン丸　十一月十四日　午後四時出帆
○大連直行
千珠丸　十一月廿日
チヨイサン丸　十一月　日　正午出帆
○淸津、浦潮行（元山出帆）
▲は城津西湖津に寄港鏡城不寄港
地久丸　十一月　日
神宮丸　十一月十八日　午後三時出帆
▲城津丸　十一月　日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
新高丸　十一月十六日
安平丸　十一月　日　午前十時出帆
御注意　○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣
○旅客手荷物は本船員扱
○×印は一等客取扱ひ△印は二等客取扱
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話一二〇番、五〇番
京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七八〇番

阿波共同汽船仁川出帆

第六共同丸　大連、芝罘、大連行　十一月十四日　午後三時出帆
沙河鎮南浦主要地にて直接代理店を設け萬事便宜を計る（以下判讀困難）
第一阪鶴丸（元山出帆）西湖津、城津、淸津、浦潮行（元山出帆）　十一月　日　後九時出帆
第三共同丸　西湖津沿岸各港を經て雄基行　十一月　日　出帆
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行
小倉丸　十一月十六日　後五時出帆
○元山城津浦潮行
小倉丸　十二月二日　後十時出帆
○門司、神戶、大阪行
立神丸　十一月九日　後五時出帆
○元山、淸津、浦潮行
立神丸　十一月十九日　後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、淸津行
第三琴平丸　十一月　日　後九時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行
第三琴平丸　十一月廿三日　後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天眞丸　毎月二日九日十六日廿三日
釜山本町　大池回漕部